

第八十四回
帝國議會
貴族院

所得稅法外二十九法律中改正法律案特別委員會會議事速記録第一號

付託議案

○所得稅法外二十九法律中改正法律案

委員氏名

委員長 伯爵二荒 芳德君
副委員長 男爵島津 忠彦君
公爵德川 家正君
侯爵井上 三郎君
侯爵中山 輔親君
子爵曾我 祐邦君
子爵大河内輝耕君
子爵織田 信恒君
子爵柳澤 光治君
子爵由利 正通君
中川 健藏君
三井清一郎君
男爵小畑太郎君
男爵松岡 均平君
松本 丞治君
河田 烈君
男爵益田 太郎君
三浦 新七君
黑田 英雄君
西野 元君
松本 學君
竹下 豐次君
野村 德七君
磯野 庸幸君
河西豐太郎君
中山 太一君
大藪 守治君

昭和十九年一月三十一日(月曜日)午前十一時三十八分開會

○委員長(伯爵二荒芳德君) 本委員會が開會致シマス、先ヅ大藏大臣カラ法案ニ關シマシテ、御説明ヲ伺ヒタイト思ヒマス

○國務大臣(賀屋興宣君) 本委員會ニ付託

トナリマシタ所得稅法外二十九法律中改正法律案ニ付キマシテ、提案ノ理由ヲ説明

致シタイト存ジマス、本會議ニ於テモ申上

ガマシタ如ク、政府ハ戰局ノ苛烈化ニ伴フ

臨事軍事費其ノ他、決戰下避クベカラザル

諸經費ノ増加ニ因ル財政需要ノ膨脹ニ對處

致シマシテ、極力租稅收入ノ増加ヲ圖リ

マシテ、以テ戰時財政ノ基礎ヲ鞏固ナラシ

ムルコトニ努メ、之ト共ニ他面戰時經濟ノ

圓滑ナル運営ヲ期スル爲、購買力ノ吸收、

消費ノ抑制ヲ圖リ、以テ國民生活ヲ確保シ

ナガラ物資、勞力、資金等、凡ソ國家經濟

ノ總力ヲ擧ゲテ戰勝獲得ノ目的ノ爲ニ、戰

爭生産力ニ集中スルノ必要ガ愈、緊切ナルモ

ノガアルト認メマシテ、仍テ臨事軍事費ノ

財源ノ一部ニ充當スル爲、此ノ際増稅ヲ行

フコトトシ、之ニ關スル本法律案ヲ本議會

ニ提案致シタ次第デアリマス、而シテ昨年

ニ於キマシテハ、酒稅等ノ間接稅ヲ中心ト

致シマシテ相當多額ノ増稅ヲ行ヒマシタ關

係モアリマスシ、今回ノ増稅ハ自然所得稅

等ノ直接稅ヲ中心トスベキハ勿論デアリマ

ス、併シ今次増稅ノ趣旨ニモ願ミマシテ、

間接稅其ノ他ニ付テモ相當ノ増稅ヲ行フコ

トト致シタノデアリマス、之ト同時ニ生産

力ノ擴充、貯蓄ノ増強、其ノ他戰時下緊要

ナル諸經濟政策ト租稅トノ調和ニ付キマシ

テハ、特ニ慎重ニ考究ヲ致シマシテ、適當

ト認メル措置ヲ講ズルコトト致シタノデア

リマス、又稅務行政ノ全般ニ互リ極力之ガ

簡素化ヲ圖リマスル共ニ、課稅ノ適正

充實ヲ期スル爲ニ適當ト認ムル改正ヲ行ハ

ムトスル次第デアリマス、而シテ其ノ要點

ハ、第一ニ所得稅ニ於キマシテ新タニ丙種

ノ事業所得ヲ設ケマシテ、源泉徴收制度ヲ

擴充強化シタルコトデアリマス、第二ノ

點ハ適正ナル納稅ノ確保ニ付キマシテ特ニ

留意致シタコトデアリマス、第三ニハ決戰

下ノ現狀ニ願ミマシテ、官民相互ノ手數ヲ

極力省キ簡便ナラシムル爲ニ、稅制及ビ賦

課徴收制度ノ簡素化ヲ圖ツタコトデアリマ

ス、是ヨリ法案ノ内容ニ付キマシテ御説明

ヲ致シタイト思ヒマス、先ヅ所得稅デアリ

マスガ、今回ノ増稅ハ所得稅ニ主眼ヲ置イ

タ次第デアリマシテ、所得稅中、分類所得

稅ニ付キマシテハ、各種所得間ノ負擔ノ權

衡ニ留意シナガラ稅率ノ引上及ビ課稅範圍

ノ擴張等ヲ行ヒマシタ、總稅額ニ於テ大體

五割ノ増徴ヲ行フコトト致シタノデアリマ

ス、此ノ改正ノ要點ハ、第一ハ稅率ノ引上

デアリマス、即チ稅率ヲ原則トシテ百分ノ

五ダケ引上げ、例ヘバ不動産所得ニ付キマ

シテハ百分ノ十六デアリマスノヲ百分ノ

二十一ニ致シ、甲種ノ事業所得ニ付キマシ

テハ百分ノ十三デアリマスノヲ百分ノ十八

十ヲ百分ノ十五ニ引上グルコトト致シタ譯

デアリマス、唯國債ノ利子所得ニ付キマシ

テハ、其ノ性質等ニモ願ミマシテ百分ノ四

ノ引上ニ致シマシタ、又乙種事業所得ニ付

キマシテハ百分ノ六ヲ引上ガマシタ、山林

ノ所得、退職所得、清算取引所得ニ付キマ

シテモ、ソレハ適當ト認ムル増徴ヲ行フ

コトト致シタ次第デアリマス、尙元本五千

圓以下ノ銀行貯蓄預金、產業組合貯金等ニ

付テハ從來所得稅ヲ課稅シナカッタノデ

アリマスルガ、今回ノ増稅ノ趣旨ニモ

願ミマシテ今回ノ増稅部分、即チ百分ノ五

ト云フ上リマスル部分ダケヲ稅ヲ課スルコ

トト致シマシタ、ソレト共ニ其ノ他ノ銀行

預金、元本五千圓以下ノモノノ利子等ニ對

シマシテモ、實際ノ狀況ニ願ミマシテ、同

樣ノ課稅率ニ改メタノデアリマス、又配當

所得ニ付キマシテハ、從來其ノ所得額ヨリ

一割ヲ控除シタモノヲ課稅ノ對象金額ト致

シテ居タノデアリマスルガ、今回之ヲ廢

止致シマシタ、併シナガラ稅率ノ引上ノ方

ヲ緩和致シマシテ、事實上ノ調整ヲ致シマ

シタ、稅率ヲ百分ノ十五ヨリ百分ノ十九、

百分ノ四ノ引上ニ止メタノデアリマス、尙

產業組合、統制組合等ノ特別ノ法人カラ受

クル剩餘金ノ分配ニ付キマシテハ、從來配

當所得ニ比シマシテ稅率ヲ百分ノ五ダケ輕

減致シテ居タノデアリマスガ、今回ハ此

ノ輕減ヲ廢止シマシテ、通常ノ稅率ニ依リ

課稅スルコトニ致シタノデアリマス、第二

ハ課稅範圍ノ擴張デアリマス、今回ノ増徴

ニ當リマシテハ、免稅點、基礎控除等ハ原則トシテ引下グルコトヲ見合セタノデアリマス、從テ課稅範圍ノ擴張ハ、小ナル部分ニミ止ツタノデアリマス、退離所得ニ關シマシテハ、其ノ控除額ヲ五千圓ヨリ三千圓ニ引下ゲマシタ、又産業組合、統制組合等ノ特別ノ法人ノ清算分配金等ニ付キマシテモ、各方面共租稅負擔ノ増大スル此ノ際トシマシテハ、課稅スルコトヲ適當ナリト認メ、所得稅ヲ課スルコトヲ致シタノデアリマス、第三ハ源泉徵收制度ノ擴充強化デアリマス、日傭務務者等ノ報酬、料金等ニ付キマシテハ、從來建前トシテハ賦課課稅ヲ行フコトデアツタノデアリマス、併シナガラ實情ハ課稅ヲサルベキ所得ノ程度ニ平時ニ於テハ至ラナイモノガ多イノデアリマシテ、又課稅致スルシマシテモ、賦課課稅ノ方法デハ、ナカ／＼適當ナル課稅ハ困難ナル實情デアツタノデアリマス、處ガ、時局ニ因ル經濟ノ様相ノ變遷ニ伴ヒマシテ、此ノ邊ノ所得ガナカ／＼増大ヲ致シマシテ、所得稅ヲ賦課サルベキ程度ニ達スル者ガ相當アルト認メラレノデアリマス、併シナガラ現在ノ賦課課稅ノ方法デハ極メテ不十分デアリマスノデ、特ニ此處ニ注意ヲ致ス必要ガ認メラレ、實際上ノ課稅ガ、充實シテ行ハレマスルコトヲ主眼ト致シ、他面納稅及ビ徵稅上ノ手續ヲ簡便ニスルコトヲ云フコトモ考ヘマシテ、新タニ兩種ノ事業所得トシテ分類所得稅ヲ源泉ニ於テ徵收致シマシタ、尙ハ只今申上ゲマシタ日傭務務者等ノ料金ノ外、尙講演等ノ報酬ニ付キマシテモ同様ニ致スノデアリマスルガ、是等ノ報酬ヤ賃銀等ノ支拂ヲ爲ス者ハ、支拂ノ際ニ徵收セシムル、斯様ニ致シタノデゴ

ザイマス、第四ハ、年ノ中途ニ於テ稅法施行地ニ住居所ヲ有スルニ至リマシタ者ニ對スル所得稅ノ課稅ノ適正ヲ期シマスル爲、適當ナル規定ヲ設クルコトヲ致シタノデアリマス、綜合所得稅ニ付キマシテハ、第一ニ分類所得稅ノ引上トノ關係ヲ考慮シマシテ、稅率ノ引上ヲ致シタノデアリマスルガ、現在ニ於ケル負擔ノ狀況モ考慮シマシテ、最低三千圓ヲ超ユル部分ニ對スル稅率ハ、現行百分ノ六デアリマスルノヲ百分ノ八ニ致シ、最高五十萬圓ヲ超ユル所得ノ部分ニ付キマシテハ、稅率ヲ百分ノ七十二デアアルノヲ百分ノ七十四ニ上ゲマシテ、總稅額ニ於テ三割弱ノ程度、一割八分位ト存ジマスガ、ソレダケノ増徴ヲ行フコトト立案ヲ致シマシタ、右ノ引上ニ對應致シマシテ、公社債、銀行預金等ノ利子ニ付源泉課稅ヲ選擇シタ場合ニ於ケル綜合所得稅ノ稅率ヲ、百分ノ二十五カラ百分ノ三十三ニ引上ゲタノデアリマス、第二ニ、公社債、預金ノ利子等ニ付キマシテハ、從來總所得ノ計算ニ當リ其ノ四割ヲ控除シテ課稅致シテ居リマシタガ、右ノ源泉課稅ノ場合ニ於ケル稅率ノ引上ニ伴ヒマシテ、之ヲ三割ニ引下ゲタノデアリマス、第三ニ、從來總所得一萬圓以下ノ者ノ勤勞所得ニ付キマシテハ、其ノ所得ノ性質ニ顧ミマシテ、一割ヲ控除シテ課稅ヲ致シテ居ツタノデアリマスガ、今回之ヲ六千圓以下ノ所得者ニ限ルコトトスル等ノ改正ヲ致シテ居ルノデアリマス、法人稅ニ付キマシテハ、所得稅ノ増徴トノ權衡、増稅カ産業及ビ經濟界ニ與ヘマスル影響等ニ付考ヘマシタ結果、所得ニ對スル稅率ヲ、百分ノ二十五百分ノ三十三ニ引上グルコトト致シマシタ、尙同族會社ノ加算稅金ニ付

キマシテモ、所得稅ノ増徴ニ伴ヒマシテ現行稅率百分ノ二十四乃至百分ノ七十二ヲ百分ノ三十乃至百分ノ七十四ニ引上グルコトト致シタノデアリマス、又資本ニ對スル稅率ハ、昭和十五年以來増徴ヲ行ハナカッタ點等ヲ考慮シ、之ヲ千分ノ一・五ヨリ千分ノ三ニ引上ゲタノデアリマス、特別法人稅ニ付キマシテハ、三點ニ付テ改正ヲ行フノデアリマス、第一ニ特別法人稅ノ稅率ハ、現在百分ノ十二・五ヲナツテ居ルノデアリマスガ、一般ノ法人ニ對シ法人稅、臨時利得稅、營業稅等各種ノ租稅ガ増徴セラル、此ノ際トシマシテハ、之ヲ百分ノ二十二ニ引上グルコトヲ適當ト考ヘルノデアリマス、第二ニ特別ノ法人ガ解散又ハ合併ヲ爲シタル場合ノ清算剩餘金ニ付キマシテハ、從來非課稅デアツタノデアリマスガ、各事業年度ノ剩餘金ニ對スル稅率ヲ引上ゲタル點等ニ顧ミマシテ、之ヲ課稅外ニ置キマスコトハ適當ニ非ズト考ヘラレマスノデ、今回清算剩餘金ニ對シテモ、新タニ課稅スルコトト致シタノデアリマス、唯農業團體法、商工組合法等ノ施行ニ依リ、從來ノ團體ガ改組統合セラル、場合ニ付テハ、本改正法施行後一年ヲ限り課稅セザルコトト致シテ居ルノデアリマス、第三ニ、特別ノ法人ガ所有スル國債ノ利子ニ付テハ、剩餘金ノ計算ニ當リ、其ノ七割ニ相當スル金額ヲ控除スルコトトナツテ居ルノデアリマスガ、元來是等ノ法人ニ對シテハ分類所得稅ヲ課稅シテ居リマセヌ點、及ビ是等ノ法人ノ租稅負擔ノ實情等ニ顧ミマシテ、之ヲ廢止スルヲ適當ト認メタルデアリマス、尤モ之ニ依ル負擔ノ急激ナル變化ヲ避クル爲、本改正法施行後一年間ハ尙三割ヲ控除スルコトト致シテ居ルノ

デアリマス、臨時利得稅ニ付キマシテハ、最近屢次ノ増稅等ニ依リマシテ、其ノ負擔ハ相當重クナツテ居ルノデアリマスガ、決戰下ノ現在トシテハ、或程度増徴スルコトハ亦已ムヲ得ナイト考ヘラレマスノデ、法人臨時利得稅ニ付テハ、現行稅率百分ノ五十五乃至百分ノ七十五デアリマスルガ、各階級共ニ百分ノ五ダケ引上ゲ、百分ノ六十乃至百分ノ八十トシ、小法人ニ對シテモ、ソレ／＼百分ノ五ヲ引上ゲマシタ、又個人ノ讓渡利得ニ對スル稅率百分ノ二十五乃至百分ノ五十五デアアルノヲ百分ノ三十乃至百分ノ六十ト致シタノデアリマス、又配當利子特別稅ニ付キマシテモ、最近増徴ヲ行ハナカッタ點ヲモ考慮致シマシテ、現行稅率百分ノ十五ヲ百分ノ二十五ニ引上ゲタノデアリマス、其ノ地方團體ノ財源タル營業稅、地租及家屋稅ニ付テモ、地方財政ノ現狀及ビ他ノ各稅トノ權衡等ノ見地カラ現行稅率百分ノ一・五、百分ノ二、百分ノ一・七五ヲ、ソレ／＼百分ノ一・五ヲ百分ノ二ニ、百分ノ二ヲ百分ノ三ニ、百分ノ一・七五ヲ百分ノ二・五ニ引上グルコトト致シタノデアリマス、次ニ繼續稅デアリマスガ、右ニ申述ヘマシタヤウニ、所得ニ對シテモ相當増稅ヲ致シマシタ關係上、財産ニ付キマシテモ、或程度ノ負擔ヲ增加スルコト亦已ムヲ得ナイト認メ、總稅額ニ於テ二割程度ノ増徴ヲ行フコトト致シマシタ、例ヘバ現行家賃相續第一種一萬圓以下ノ金額千分ノ十二、百萬圓ヲ超ユル金額千分ノ三百、五百萬圓ヲ超ユル金額千分ノ四百デアリマスルガ、之ヲ千分ノ十二ヲ千分ノ十三ニ、又千分ノ三百ヲ千分ノ三百六十五ニ、千分ノ四百デアアルノヲ千分ノ四百四十二ニ引上グルコトト致シタノデアリ

マス、即チ少額ノ相續財産ニ對シテハ、其ノ急激ナル負擔ノ増加ヲ避クル爲、又非常ニ多額ノ相續財産ニ付テハ現在既ニ相當高率ヲナツテ居ル點ヲモ考ヘマシテ、増徴割合ヲ比較の輕度ニ止ムルコトヲ致シテ居ルノデアリマス、尙是ト同時ニ從來稅額百圓以上デアリマスキハ年賦延納ヲ認メルコトヲシテ居ルノデアリマスガ、最近ノ經濟事情ノ變化、又事務ノ手續ノ簡素化等ノ點ニ顧ミマシテ、之ヲ三百圓以上ノ場合ニ限ルコトト致シタイノデアリマス、通行稅ニ付キマシテハ、從來料程ニ依ル階級定額稅率ニ依ッテ課稅シテ居ルノデアリマスガ、之ヲ原則トシテ、一軒當リ一等二錢五厘、二等一錢二厘五毛、三等二厘五毛ノ比例稅率ニ改メマシテ、以テ負擔ノ公正ト事務ノ簡捷化ヲ圖リマシテ、總稅額ニ於テ七割程度ノ増徴ヲ行フコトト致シタイノデアリマス、唯其ノ例外ト致シマシテ、郊外電車等ノ如ク區間制ニ依リ運賃ヲ定メマシタ線路等ニ付テハ、料程ニ依ル稅率ヲ採用スルコトハ、其ノ實情ニ適シマセヌモノガアリマスカラ、例ヘバ乗車船區間三十軒以下ノトキハ、一等五十錢、二等二十五錢、三等五錢等ノ如ク、從來ノ階級定額稅ヲ存置スルコトト致シタイノデアリマス、尙之ト共ニ三等乗客ニ付テハ、現在四十軒以下ノ乗車船ハ非課稅トナツテ居ルノデアリマスガ、各方面共増稅ノ行ハレマス此ノ際ト致シマシテハ、之ヲ二十軒ニ引下ゲマシテ、是等ノ乗車船ニ付テモ或程度負擔ヲ課スルヲ適當ト認メタノデアリマス、尙勞務者等ノ定期券等ニ付キマシテハ非課稅デアリマスコトハ現在通りデアリマス、登錄稅ニ付キマシテハ、定率稅ニ付テハ、不動產ノ賣買等ニ因ル所有權ノ取得ニ對スル稅

率ヲ、現行千分ノ三十デアルヲ千分ノ四十ニ、會社設立ノ場合等ノ登記ニ對スル稅率、現行千分ノ五デアリマスノヲ千分ノ六ニ引上ゲマス等稅率ヲ引上ゲ、又定額稅ニ付キマシテハ、最近久シク増徴致シマセヌ點ヲモ顧ミマシテ、十割程度ノ引上ヲ行ヒマシタ、是等ニ依リ總稅額ニ於テ二割程度ノ増徴ト相成ル次第デアリマス、尤モ船舶、海員、特許權、鑛業權、社債等ニ關スル登記又ハ登錄、臨時租稅措置法其ノ他ノ特別法ノ規定ニ依ル特別稅率ニ付キマシテハ、其ノ性質ニ顧ミ増徴ヲ見合ハスコトト致シテ居ルノデアリマス、次ニ消費稅デアリマスガ、今回ノ増稅ノ趣旨ハ、決戰下ノ現狀ニ顧ミ、奢侈の性質ヲ有スル消費ニ對シマシテハ特ニ重課致シマシテ、然ラザル方面ノ消費ニ對シマシテハ、或ハ増徴セザルカ、又致シマシテモ、増徴割合ヲ少カラシムルコトニ努メテ居ル次第デアリマス、先ヅ酒稅ノ改正ニ付テ說明申上ゲマスルト、從來酒稅ハ原則トシテ酒類造石稅ト酒類庫出稅トノ二本建ニ大體ナツテ居タノデアリマスガ、課稅方法ノ簡素化ヲ圖ル爲、造石稅ヲ廢止シテ庫出稅一本ト致シマシタ、又稅率ヲ引上ゲ、總稅額ニ於テ七割程度ノ増徴ト致シタイノデアリマス、即チ清酒ニ付テ申シマスレバ、品質ガ優良ナル第一級酒ニ付テハ、一石ニ付四百八十圓引上ゲマシテ、現在ハ造石稅ト庫出稅ヲ合シテ、一石五百十五圓デアリマスノヲ九百九十五圓ノ稅ニ相成リマス、第二級酒及ビ第三級酒ニ於キマシテモ同ジク現在三百四十圓、或ハ二百十圓デアリマスノヲ、ソレノ六、二百二十圓、或ハ三百四十圓ニ引上グルコトニ致シタイノデアリマス、其ノ結果清酒ノ小賣價格ハ第一級酒ハ一升

ニ付十二圓程度、第二級酒ハ八圓程度、第三級酒ハ五圓程度ト相成ル見込デアリマス、尙第四級酒ハ配給事務ノ簡素化、其ノ他ノ見地カラ之ヲ廢止スルコトト致シマシタ、又合成清酒ニ付テモ右ニ準ジ相當程度ノ増徴ヲ行フコトト致シマシタ、麥酒ニ付キマシテハ、一石ニ付現在百七十七圓八十錢ノ稅デアリマスガ、之ヲ二百八十圓ニ引上ゲマシタ、其ノ結果普通罐一本ノ小賣價格ガ九十錢ノ程度デアリマスガ、是ガ一圓三十錢程度ト相成ル見込デアリマス、其ノ他味淋、燒酎、雜酒等ニ付キマシテモ、品質等ヲモ考ヘマシテ、稅負擔ニ差等ヲ設ケナガラ、適當ナ稅率ヲ編出シタ次第デゴザイマス、尙生産力擴充關係產業其ノ他ノ重要產業ニ從事スル勞務者等ニ對シ配給致シテ居リマス價格特配酒ニ付テハ、現在程度ノ課稅ノ輕減ハ矢張り存置スル方針デゴザイマス、是ハ餘談デハゴザイマスガ、煙草ノ値上ニ付キマシテモ、煙草ノ價格特配ノモノニ付キマシテハ、矢張り過去ニアリマシタ程度ノ差ハ存置シテ置ク酒ト同ジ方針ヲ採ッテ居ル次第デアリマス、清涼飲料稅ニ付キマシテハ、其ノ消費ノ性質及ビ酒類ナドトノ權衡ヲモ考ヘマシテ、相當大幅ノ増徴ヲ行ヒマシタ、即チ第一種、玉「ラムネ」ハ一石ニ付二十圓デアアルヲ七十圓ニシマシタ、第二種、「サイダー」ハ一石ニ付六十五圓デアリマスノヲ百六十圓ニ上ゲマス、第三種、「ソーダ」水ハ炭酸「ガス」一瓶ニ付二十五圓ヲ五十圓ニ引上ゲタノデアリマス、其ノ結果、今回ノ増稅ニ依リマシテ、玉「ラムネ」ハ、小賣價格ガ今十錢デアリマスガ、十五錢程度ニナリ、「サイダー」ハ現在三十錢位デアリマスガ、是ガ

五十錢程度ト相成ルト思ヒマス、砂糖消費稅ニ付キマシテハ、砂糖ノ家庭消費ニ付キマシテハ他ノモノヨリモ増徴ノ程度ヲ輕クスルノガ至當ト認メマシテ、是ハ二割程度ノ増稅ニ止メタノデアリマス、第二種乙、即チ普通ノ白砂糖ニ付テハ、現在百斤ニ付十四圓五十錢デアリマスガ、之ヲ上ゲマシテ、百斤ニ付十七圓五十錢ト致シマシタ、其ノ他ノ砂糖糖蜜等ニ付キマシテモ、之ニ準ジマシテ適當ニ増徴ヲ行フコトト致シテ居リマス、是デ今回ノ引上ニ依リマシテ、家庭用ノ白砂糖一斤三十五錢五厘ノ現在販賣價格デアルト思ヒマスガ、是ガ三十八錢五厘程度トナル見込デアリマス、又料理店、旅館等ノ業務用、菓子其ノ他ノ製造加工用ノ砂糖等ニ對シマシテ、特別消費稅ニ付テハ、其ノ消費ノ性質ニ顧ミマシテ大幅ノ増稅ヲ致シテ十割程度ノ引上ヲ、家庭用ノ更ニ其ノ上ニ行ッテ居ルノデアリマス、現行稅率ガ百斤ニ付五圓デアアルヲ十圓ニ、五圓又ハ十圓デアリマスノヲ十圓、又ハ二十圓ニ引上ゲタノデアリマス、次ニ織物消費稅ニ付キマシテハ、現在ハ綿、「ステール・ファイバー」等ヲ以テ組成スル織物ニ付キマシテハ、課稅セザルコトトナツテ居ルノデアリマスガ、今回ノ増稅ノ趣旨ニ顧ミマシテ、原則トシテ所謂非課稅ヲ廢止スルノデアリマス、皆課稅スルコトニ致シマシタガ、綿織物ニ付キマシテハ其ノ用途ノ實情ニモ鑑ミマシテ、從來通り非課稅ヲ存置スルコトト致シタイノデアリマス、物品稅ニ付キマシテハ、第一點ハ稅率ノ引上デアリマス、即チ物品稅中、第一種及ビ第二種ノ物品ハ、御承知ノ如ク奢侈の性質ヲ有スル物品、竝ニ國民生活上比較的不

急ト認メラレ、又ハ其ノ消費ガ擔稅力ヲ示スト認メラレ物品ニ付廣ク課稅スルモノデアリマス、今回ノ増稅ニ於キマシテハ、物品ノ性質等ニ應ジマシテ、種別及ビ類別ニ付適當ト認ムル組替ヘヲ行ヒマスト共ニ、第一種ノ物品ニ付テハ現在甲類百分ノ八十、乙類百分ノ三十、丙類百分ノ十デアリマスルノヲ、甲類百分ノ二十、乙類百分ノ六十、丙類百分ノ四十、丁類百分ノ二十ニ改メマシテ、又第二種ノ物品ニ付キマシテハ、現在甲類百分ノ八十、乙類百分ノ三十、丙類百分ノ二十、丁類百分ノ十デアリマスノヲ、甲類百分ノ二十、乙類百分ノ六十、丙類百分ノ四十、丁類百分ノ二十ニ改メマ

計、文房具、運動具、陶磁器等ニ付キマシテハ、徵稅事務ノ簡素化、課稅ノ適正化ヲ圖ル等ノ爲メ第二種ノ物品トシテ課稅スルコトト致シタノデアリマス、次ニ遊興飲食稅デアリマスガ、藝妓ノ花代ニ付テハ、現在百分ノ二百ノ率デアリマスルガ、之ヲ百分ノ三百ニ引上ゲ、其ノ他ノ花代並ニ花代以外ノ料金ニ付キマシテモ、ソレノ適當ナル増徴ヲ行フコトト致シテ居リマス、普通ノ飲食ノ料金及ビ宿泊ノ料金ニ對スル課稅最低限ハ、之ヲ据エ置クコトト致シマシタガ、其ノ稅率ハ現行稅率百分ノ二十乃至百分ノ百デアリマスルノヲ、最低百分ノ二十ハ据置キ、最高ハ百分ノ百二十ニ引上グルコトニ致シマシタ、尙大衆の料理店等一定ノ料理店ニ於ケル飲食料金ニシテ五圓未満ノモノニ付テハ、課稅ノ脱漏防止及ビ手續ノ簡素化ノ見地ヨリ、特ニ最低一人一回二圓未満ナルトキ四十五錢、最高五十圓未満ナルトキ二圓ノ定額稅ヲ以テ課稅スルコトトシ、此ノ場合ニ於テハ、料金領收書ニ代ヘ、政府ガ作成シ交付スル納稅切符ヲ使用セシムルコトト致シタノデアリマス、入場稅ニ付キマシテハ、第一種、即チ映畫館劇場等ニ付テハ、現行稅率百分ノ二十乃至百分ノ百二十ヲ、百分ノ三十乃至百分ノ二百ニ引上ゲ、第二種、即チ撞球場「ゴルフ」場等ニ付テモ、現行稅率百分ノ三十乃至百分ノ九十ヲ、百分ノ四十乃至百分ノ百五十ニ引上グルコトト致シマシタ外、第二種ノ課稅範圍ニ付若干ノ擴張ヲ行フコトト致シタノデアリマス、特別行爲稅ニ付キマシテハ、寫眞ノ撮影、調髪整容、染色等ニ對スル現行稅率百分ノ三十乃至百分ノ四十又ハ百分ノ五十ニ、印刷及ビ製本ニ

對スル稅率百分ノ二十乃至百分ノ三十ニ引上グルト共ニ、現在ノ課稅最低限ヲ實情ニ適スルヤウ適當ニ引上ゲ又ハ引下グルコトト致シマシタ、又蓄音器、樂器等ノ修繕、金融機關ノ保護預リ等ニ付テハ、現行課稅行爲トノ權衡上新タニ課稅スルヲ適當ト認メ、之ニ課稅スルコトト致シタノデアリマス、其ノ他ノ租稅ニ付キマシテハ、廣告稅ニ付、第一種ノ廣告ニ對スル現行稅率百分ノ十乃至百分ノ三十トシ、第二種ノ廣告中「ボスター」ニ付テハ現行稅率一枚十錢ヲ十五錢トシ、其ノ他ノ廣告ニ付テモソレノ適當ト認ムル増徴ヲ行ヒ、又骨牌稅ニ付テモ麻雀ニ對スル現行稅率一組ニ付十圓ヲ二十圓ニ、其ノ他ノ骨牌ニ付テハ、一組一圓五十錢ヲ三圓ニ引上グル等十割程度ノ増徴ヲ行フコトト致シマシタ外、印紙稅ニ付テモ若干免稅ヲ整理シ、産業組合商工組合等ガ、其ノ出資者以外ノ者ニ對シ發スル受取書等ニ課稅スルコトト致シタノデアリマス、今回ノ増稅ニ際シマシテハ、適正ナル納稅ノ確保ト云フコトニ特ニ留意致シタ次第デアリマス、就中遊興飲食稅、物品稅其ノ他ノ間接稅ニ付キマシテハ、最近ニ於ケル屢次ノ増稅ニ依リ、其ノ稅率ハ相當高率トナリ、又納稅義務者ノ數モ極メテ多數トナリ居ルノデアリマスガ、其ノ實情ニ於テ種々遺憾ノ點ガアリマスノデ、課稅ノ適正充實ト云フコトガ肝要デアルト存ジマス、同時ニ官民相互ノ手續ヲ簡素ナラシムル爲、必要ナル改正ヲ行フコトト致シテ居ルノデアリマス、即チ第一ハ遊興飲食稅、物品稅、特別行爲稅等ノ納稅義務者ニ對シ、受取書又ハ料金領收書ノ發行、政府ガ作成シ交付スル納稅證紙ノ貼用、其ノ他取締上必要ナ

ル事項ヲ命ジ得ルコトト致シタノデアリマス、第二ハ現在遊興飲食稅、物品稅、特別行爲稅等ノ徵收ニ付テハ、納稅者ノ組織スル團體ニ對シテ、徵收事務ノ補助ヲ命ジ得ルコトトナッテ居ルノデアリマスガ、今回は等ノ團體ニ對スル監督規定ヲ整備スルト共ニ、團體員ノ納稅ニ關スル告知ヲ其ノ代表者ニ對シ一括シテ爲シ得ルコトト致シタノデアリマス、第三ハ遊興飲食稅、物品稅其ノ他ノ間接稅ニ付惡質ナル犯則者ニ對シテハ、體刑ヲモ科シ得ルコトトスル等、罰則ヲ強化シ、其ノ取締ニ遺憾ナキヲ期スルコトト致シタノデアリマス、而シテ是等ニ關シ必要ナル改正ハ各稅法中ニソレノ規定スル外、間接國稅犯則者處分法ニ付テモ必要ナル改正ヲ行フコトト致シテ居ルノデアリマス、次ニ臨時租稅措置法ノ改正ニ付テ說明致シタイト存ジマス、今回ノ增稅案ノ作成ニ當リマシテハ、前述ノ如ク增稅スベキ租稅ノ種類及ビ增稅額ノ決定ニ當リマシテ、決戰下ニ於ケル經濟諸政策トノ調和ニ付テハ、特ニ慎重ナル考慮ヲ拂ツタ次第デアリマスガ、尙生産ノ増強、産業ノ再編成、貯蓄ノ増強等各種ノ重要ナル政策ノ圓滑ナル遂行ニ資スル等ノ爲、臨時租稅措置法ヲ改正シ、租稅上必要ナル各種ノ措置ヲ講ズルコトト致シタノデアリマス、第一ハ時局下極メテ緊要ナリト認メラレ、生産ノ増強ニ關スルモノデアリマス、即チ法人ガ其ノ所得ノ一割以上ヲ留保シマシテ、設備ノ擴張又ハ國債等ノ買入ニ充テタル場合ニ於テハ、其ノ運用金額ノ百分ノ七・五ニ相當スル法人稅ヲ輕減スルコトト致シテ居ルノデアリマスガ、今回各事業年度ノ所得中運用シタル金額ノ三割ヲ法人稅ノ所得ヨリ控除スルコ

トニ改メタノデアリマス、次ニ法人等ガ特別價格報獎金ヲ取得シ、之ヲ内部ニ留保シタル場合ニ於テハ、課税ノ上ノ特例ヲ設ケ、其ノ五割程度ニ付テハ、法人税所得税等ヲ課税セザルコトト致ス見込デアリマス、又時局産業會社等ノ新規拂込ノ株式ノ配當金ニシテ、配當率一定以下ノモノニ對スル分類所得税ノ輕減程度ヲ擴張致シタノデアリマス、第二ハ産業ノ再編成等ニ關スルモノデアリマス、時局ノ要請ニ依ル企業整備等ノ場合ニ付キマシテハ、現在所得税、法人税、臨時利得税等ノ輕減免除又ハ課税標準ノ計算ニ關スル特例ヲ認メテ居ルノデアリマスガ、最近ニ於ケル企業整備ノ狀況等ニ顧ミマシテ、右ノ期間ヲ更ニ一年延長スルコトト致シマシタ、其ノ外其ノ適用範圍ヲ若干擴張致シタノデアリマス、第三ハ、貯蓄ノ增強ニ關スルモノデアリマシテ、之ニ關シマシテハ、所得税法ノ改正ニ付テモ考慮シタノデアリマスガ、現在長期預金等ニ付キマシテハ、其ノ獎勵ノ爲據置期間ニ應ジ、百分ノ一乃至百分ノ五ダケ分類所得税ヲ輕減致シテ居ルノデアリマス、然ル處今同契約期間三年以上ノモノニ付テハ、預入ノ初メヨリ一律ニ百分ノ五ノ輕減ヲナスコトニ改メタノデアリマス、又國民貯蓄組合法ヲ改正シマシテ、國民貯蓄組合ノ斡旋シタル貯蓄ニ對スル非課税ノ限度ヲ、現在ノ七千圓ヨリ一萬圓ニ引上グル等、其ノ範圍ヲ擴張スルコトト致シテ居リマス、尙元本五千圓以下ノ銀行貯蓄預金、産業組合貯金ノ利子等ニ付キマシテハ、前述ノ如ク分類所得税ノ税率ヲ特ニ百分ノ五ト致シタノデアリマスガ、之ヲ取扱フ金融機關ノ手續ヲ簡便ナラシムルコトガ必要デアリマスノデ、如何

ニ簡便ニスルカト云フヤリ方ノ必要ニ應ジテ、税引利子ノ計算上簡易ナル方法ヲ採用シ得ルコトト致シマシテ、此ノ爲ニハ百分ノ一ノ範圍内ニ於テ、税率ヲ輕減シ得ルコトト致シタノデアリマス、第四ハ金融機關ニ對スル課税制度ノ改正ニ關スルモノデゴザイマス、從來銀行等ニ對シマシテハ、其ノ所有スル供託又ハ登錄公社債ノ利子ニ付テハ、分類所得税ヲ百分ノ二乃至百分ノ六輕減シマシタ、一方所有國債等ニ付テハ利子ノ七割ヲ控除シテ法人税ヲ課税致シテ居タノデアリマスガ、今回ノ増税ニ當リマシテハ、供託又ハ登錄公社債ノ利子ニ付テハ、分類所得税ハ課税シナイコトト致シマスルト共ニ、國債利子等ノ七割控除制度ヲ廢止スルコトト致シタノデアリマス、第五ハ立木ヲ以テ相續税ノ物納ニ充ツル場合ニ於キマシテハ、從來ノ行キ方デハ一時ニ山林ノ所得ガ澤山出マス爲ニ、多額ノ所得税ヲ課セラル、ノデアリマス、又不動産ヲ以テ物税ニ充ツル場合ニ於キマシテモ、一時ニ讓渡利得ヲ生ズル爲ニ多額ノ臨時利得税ヲ課セラル、コトトナルノデアリマスガ、是ハ年賦延納ノ場合ニ比シマシテ、權衡ヲ得ザル點ガアリマスノデ、是等ノ場合ニ於ケル所得税又ハ臨時利得税ヲ輕減シマスル爲ニ、其ノ所得金額又ハ利得金額ノ三割ヲ控除シテ課税スルヤウニ致シタノデアリマス、其ノ他木材又ハ薪炭ノ増産ノ必要上、山林ノ増伐ヲ爲シタル者ニ對スル所得税輕減ノ程度ヲ擴張シ、法人ノ合併ノ場合ニ於ケル清算所得等ノ計算ニ關スル規定ヲ整備スル等必要ナル改正ヲ行フコトト致シタノデアリマス、次ニ國內決戰態勢ノ強化ニ伴ヒマシテ、各般ノ行政ニ互ツテ其ノ簡捷化ヲ圖ルコトハ

極メテ重要デアリマシテ、稅務行政ニ付キマシテモ相當複雑トナツテ居リマスカラ、出來得ル限リ簡素化ノ方法ヲ考ヘマシテ、人的及生物的資源ノ節減ヲ圖ルコトトシ、既ニ實行致シテ居ルモノモアルノデアリマスガ、今回ノ増税等ニ伴ヒマシテ、更ニ納税及ビ徵税ニ伴フ官民相互ノ手數ヲ省略シマシテ、以テ戰力增強ニ寄與致サムト致シマシタ外、徵收制度全般ニ互リマシテ、簡素化及ビ合理化ヲ圖ルコトト致シタノデアリマス、是等ニ付キマシテハ、各稅法ヲ御說明申上ゲル際既ニ申述ベタ點モアリマスガ、ソレ以外ノ點ニ付テ其ノ主ナルモノヲ申上ゲマス、分類所得税ノ扶養家族ノ控除及ビ基礎控除ノ計算方法等ヲ簡易化シタルコト、山林ノ所得ニ對スル綜合所得税ノ課税ヲ廢止シマシテ、之ヲ分類所得税ニ統合シタルコト、法人税及ビ臨時利得税ノ課税ニ當リマシテ、資本金ノ計算方法ヲ簡易化シタルコト、砂糖消費税及ビ印紙税ノ課税方法ヲ簡易化シタルコト、内外地間ニ於ケル所得税等ノ課税方法等ヲ簡素化シタルコト、田租以外ノ地租及ビ家屋税ノ納期ヲ一年一回トシ、其ノ外各種租税ノ納期ヲ適正ナラシメタルコト、又國庫出納金端數計算法ヲ改正シマシテ、納税金額ノ錢位ニ付適當ナル簡素化ノ方法ヲ講ジタルコト等デアリマス、右申上ゲマシタ外輝太ニ於テモ適當ナル増税ヲ行フコトト致シマス關係上、之ニ必要ナル爲明治四十年法律第二十一號ニ付テ改正ヲ行フコトト致シ、又納税施設法ニ付キマシテモ、必要ナル改正ヲ行フコトト致シテ居リマス、以上ヲ以テマシテ増稅法律案ノ内容ニ付説明ヲ申上ゲタ次第デアリマスガ、是等ノ増税ニ依リマシテ、ドレダケノ

增收ガアルカト申シマスニ、平年度額ト致シマシテ分類所得税九億五千餘萬圓、綜合所得税一億五千三百餘萬圓、合計所得税ガ十一億四百餘萬圓デアリマス、法人税ハ二億四百餘萬圓、特別法人税千三百餘萬圓、營業稅四千六百餘萬圓、臨時利得税一億八千二百餘萬圓、配當利子特別稅三百餘萬圓、地租千二百餘萬圓、家屋稅千四百餘萬圓、相續稅二千五百餘萬圓、通行稅五千九百餘萬圓、登錄稅二千四百餘萬圓、酒稅四億六千四百餘萬圓、清涼飲料稅千五百餘萬圓、砂糖消費稅三千四百餘萬圓、織物消費稅五百餘萬圓、物品稅一億九千五百餘萬圓、遊興飲食稅一億千六百餘萬圓、入場稅二千三百餘萬圓、特別行爲稅千四百餘萬圓、廣告稅八百餘萬圓、骨牌稅二百餘萬圓、印紙稅百餘萬圓ノ增收ト相成リマスノデ、地方團體ノ財源タル還付稅收入ノ增收ヲ含メマシテ、結局平年度約二十五億七千六百萬圓ノ增收デアリマス、初年度タル昭和十九年度ニ於テ約二十二億七千二百萬圓ノ增收トナル見込デアリマス、而シテ此ノ昭和十九年度ノ增收額中、還付稅收入ノ增收額ヲ除キマシタル金額ハ、之ヲ全部臨時軍事追加豫算ノ財源ノ一部トシテ、一般會計ヨリ同特別會計ニ繰入ル、コトト致シ豫算案ヲ編成致シテ居ルノデアリマス、最後ニ、地方分與稅法ノ改正ニ付テ御說明致シマス、御承知ノ如ク所得稅、法人稅、入場稅及ビ遊興飲食稅ノ一部ハ、地方分與稅中ノ配付稅ト相成ツテ居リ、其ノ割合ヲ法定シテアリマス關係上、今回ノ増稅等ニ伴ヒマシテ配付稅ノ割合ヲ改正スルノ要ガアリマスノデ、地方分與稅法ニ於キマシテ必要ナル改正ヲ行フコトト致シタノデアリマス、以上所得稅法

外二十九法律中改正法律案ニ付御説明ヲ申上ゲタ次第アリマス、何卒御審議ノ上速カニ御賛成アラムコトヲ御願ヒスル次第アリマス

○委員長(伯爵二荒芳徳君) 只今ノ大藏大臣ノ御説明ニ對シマシテ、全般的ニ御質疑ノアル方ニ御許ヲ致シマス

○子爵大河内輝耕君 私、チヨット皆様ノ御尋ニナル前ニ、極ク簡單ナコトヲ二三御尋ネ致シマス、大變増稅ニナリマシテ、誠ニ是ハ非常時デ已ムヲ得ナイコトト存ジマシテ、誰デモ喜ンデ之ヲ負擔スルダラウト思フ、コンナニ増稅アルニ付キマシテモ、ドウカ國家ノ擔稅力ハ十分ニ養ハナケレバナラス、又將來モ非常ニヤッテ行カナケレバナラナイト考ヘルノデスガ、昨日モ一體此ノ時局ノ見据ハドウダラウト云フコトヲ御尋ネシタノデアリマスガ、總理ノ御考デハ今年ダケデ勝敗ハ決ツマフノダト云フコトニナルト、率直ニ言ヘバ今年ダケ辛抱スレバ來年カラ直グト樂ニナルトシカ取レナイ、決シテ私ハサウ云フ御考ヘデハナイト思フ、愈ハ激烈ヲ加ヘルカラ十分ニ覺悟シテヤラナケレバナラス、決シテ何モ今年ダケデ宜イノデ、來年カラ平和ガ來ルノダト云フヤウナ風ニ考ヘルベキモノデヤナイト云フヤウニ取ルノガ普通ダラウト思フノデスガ、併シアノ總理ノ言明ハ、チヨット何ト云ヒマスカ誤解ヲシ易イノデスガ、ドウ云フ風ニ御考ヘデセウカ

○國務大臣(賀屋興宣君) 時局ノ將來ガドウナルカト云フコトニ付キマシテハ、第三者トシテノサウ云フ傍觀者ノ立場ニ於ケル所謂觀測ト云フモノト、當事者、交戰國デアリマスル日本ナリ「ドイツ」、又ハ敵側

米英等ノ致シマスル所謂其ノ角度ト云フモノトハ、自ラ全然同一ノモノデハナイト思ヒマス、敵ノ米國ニ致シマシテモ、色々國內ノ事情其ノ他ヲ考ヘマスルト、到底長期ノ戰爭ニハ堪ヘ得ナイト云フ觀測ヲ致ス人モアリ、又堪ヘ得ナイト云フ觀測ノ結論ニハ持ッテ行カナイガ、堪ヘ得ナイヤウナ事情ガ相當ニアル、一步用心ヲシテサウ云フ觀測ヲ致シテ居ル人モ相當アルト思フ、是等ノ事情カラ、大體斯ウデアラウ、ア、デアラウト云フ觀測ハ、人々ニ依ッテ異ルノデアリマスルガ、然ラバ其ノ觀測ハ必ズ當ルト云フ確信ヲ以テヤル人ガ何人アルカト云フト、是ハ世界的ニモ少イコトデアラウト思ヒマス、色々事情ノ變化、其ノ事情ノ變化ニハ人智ノ及バザル自然、其ノ他ノ變化モアリマスルシ、又人々ノ覺悟、決意、意思ノ力、是等ニ依ッテノ變化モ、強クナル方モ弱クナル方モ多分ニアルノデアリマス、ソレデ

最後ノ勝利ヲ得ルト云フ決意ト此ノ決意ニ應ズルダケノ施策ヲ爲シテ参リタイ、決戰ノ年デアルト同時ニ持久ノ策ヲ講ジテ参リタイト云フ意味ヲ強調致シテ居ルト思フノデアリマス、私共目下其ノ考デ進ンデ居ル次第デアリマス

我ガ政府ノ考ト致シマシテハ、是ハ所謂施政方針ノ演説ニ總理大臣モ其處デ言明ガアリマシタヤウニ、今年ハ決戰ノ年デアアル、戰爭ノ勝敗ヲ決スルノニ極メテ重要ナル方向ガ、右カ左カ決ル年デアアル、皇國ノ運命、東亞ノ運命ヲ左右スル年デアアル、此ノ點ガ極メテ強調シテアリマスト共ニ、持久ノ態勢ヲ必ズ同時ニ持タナケレバナラス、決戰デアアルカラ、後ハモウドツチカニ決ツテ樂ニナル、無論我ガ國家國民トシテ、勝ツト云フコトノ決意ニ間違ヒハナイノデアリマスルガ、今年デ、決戰デ勝ツシマツテ後ハ平和ニナルトカ樂ニナルトカ云フコトヲ豫期シテ毫モ萬事ヲ考ヘテ居リマセヌ、同時ニ敵ガ如何ニ持久戰ノ方策ヲ取ツテ参リマセウトモ、十分之ニ對抗致シマシテ、

○子爵大河内輝耕君 能ク御趣旨ハ分リマシタ、ソレニ付キマシテ、此ノ間モ頻リニ大藏大臣ガ繰返シテ御述ベニナリマスヤウニ、財政問題ハ同時ニ思想問題ダト云フコトデ、是モ御尤モト思フ、無論誰モ不賛成ノ者ハナイ、皆サウ思ッテ居リマスガ、如何ニモ近頃經濟上ノ不安ト云フモノガ大分アル、是ハ擔稅ヲスル上ニ於テ非常ナ妨礙ニナラウト思フ、戰爭ヲシテ皆多クノ子弟ヲ戰場ニ送ツテ居ル、又徵用モサレテ居ルト云フヤウナ狀態デアアル、稅ハ上ツテ行ク、商賣ハシニククナッテ行クト云フヤウナ今日ニ於キマシテ、餘程國民ノ負擔ト云フモノハ苦シイト思フ、尤モ好イ處ハ、大變好イ處モアリマス、是ハモウ申上ゲル迄モナイ、惡イ處バカリ見ルベキモノデナイ、是ダケノ金ガ撒布サレテ居ルノデスカラ、好イ人ハ非常ニ好イコトハ是ハ分リ切ツテ居リマス、ソレニシテモ、ドウモ經濟上ノ不安ガアルト云フ點ハ甚ダ面白クナイコトト思ヒマス、戰爭負擔ノ上ニ財政上ノ負擔ガアリ、其ノ上ニ又サウ云フ不安ヲ精神ニ持ツト云フコトハ宜クナイ、不安ハ何處カラ來テ居ルノカト云フト、兎角近頃ハ財產權ト云フモノガ無視サレル傾キガアル、好イ處ハ馬鹿ニ好ウゴザイマシテ、企業整備ニ例ヲ取リマスガ、企業整備ノ場合ナドデモ、設備モ何モナイ工場ヲ何百萬圓ニ買ツタト云フヤウナ例モアリ、御承知ノ通り發送電炭

山ナドヲエライコトヲヤツタ例ナドモアリマスケレドモ、一般的ニ申シマス、戰爭ダカラオ前達ノ財產ハ提供シテシマツタテ宜イデヤナイカ、何百萬ノモノヲ五十圓ト買ハレヤウガ、ソレヲ承知シナイノハ非國民ダ、オ前ノ所ノ建物ハマダ一人ヤ二人ハ入ル處ガアルカラ、何デモ彼デモ同居人ヲ入レロ、其處ニ病人ガアラウガ何ダラウガ、ソナコトハ構ハナイ、サウ云フヤウナ風潮ガ非常ニ強イ、是ハ今ノ御話ノ持久戰ヲ行カウク所以デナイト思フ、持久戰ヲ行カウト云フコトニ付テハ、サウ云フ權利ハ最モ重シテ、サウシテ私有財產權ハ確カニ守ラレルンダ、無論法律ノ命ズル所ニ依ッテ徵用モサレル、大イニスベシ、勿論稅ヲ増加サレタ以上ハ、稅ハ拂ハナケレバナラス、當リ前ノコトデスカレドモ、稅以外ノソナ妙ナ負擔ガ來ルト云フコトハ甚ダ面白クナイ、是ハ財政上カラ見テ、財政ガ一ツノ思想問題デアルト云フ點カラ見テ甚ダ面白クナイ現象ダト思フノデスガ、サウ云フ點ハドウ云フ風ニ御考ニナリマスカ

○國務大臣(賀屋興宣君) 經濟問題、財政問題ガ精神ノ問題デアルト云フコトヲ申上ゲマスルノハ、今更長ク御説明ヲ申上ゲル迄モナイノデアリマスルガ、之ヲ純經濟問題ト致シマスレバ、國民ノ間ニハ相當多額ノ收入ガアリ、又十分ノ財產モアリマシテ、今更其ノ收入ヲ貯蓄致シマシテ國民貯蓄ノ増加ヲスル必要モナイ、又大イニ勤勞ニ勵マナケレバナラスト申シマスルカ、十分ノ財產收入ヲシテ今更働ク必要ガナイト云フヤウナ面モ多分ニアルト思ヒマシテ、平時ニハソレデモ好イト申シテモ宜イコトモアルノデアリマスルガ、現在ニ於キマシテ

ハ其ノ個人ノ經濟狀態如何ニ拘ラズ、出來ルダケ青年壯年ハ固ヨリ、老人モ子供モ婦女子モ全力ヲ揮フテ直接或ハ間接ニ、即チ直接戰力増強ニ必要ナル生産ニ從事スルコトガ出來ナケレバ、間接ニサウ云フ生産ニ對スル勞務ノ供給率ガ上ルヤウニ他ノ方面ニ於テモ努力ヲスル、是ガ必要デアリマスルシ、全ク簡素ナル決戦下ノ生活ヲ送ツテ、資金、勞力、物資ニ剩餘ヲ生ゼシメテ、之ヲ決戦生産ノ生産要素タラシムル必要ガアル、全ク之ヲヤリマスルコトハ、所謂個人的ノ經濟、算盤デハドウシテモ出テ來ナイノデアリマス、ドウシテモ戰爭ニ勝ツ、御上ノ爲ニ御國ノ爲ニヤルノダ、東亞民族ノ爲ニヤルノダト云フ此ノ精神上ノ思想ガハッキリ確立致シマシテ、其ノ上ニ盛リ上ル力デゴザイマセヌケレバ、到底出來ナイと思フノデアリマス、工場ニ於キマシテ一ツノ振ル槌ノ力モ、唯生活ノ爲ナラバ、サ程迄力ヲ入レナクテモ勞務者ハ生活ハ出來ルデアリマス、サウデナクテ眞ニ勝ツ爲ノ生産ヲヤルト云フコトデ現在ノ生産モ出來マス、貯蓄モ出來マスシ納税モ圓滑ニ行クト思フノデアリマスルカラ、此ノ意味ニ於キマシテ全ク平時的デナイ、眞ノ精神ノ問題ガ其ノ根本ヲ成シテ居ルト云フ觀點デアリマシテ、固ヨリ當然ナコトデアアルノデアリマス、然ラバ精神ノ問題デアルカラ、何デモ精神ダ、所謂物質的、經濟的ノ考慮ヲ拂ハヌデ宜イカト申シマスレバ、ソレハ大變ナ間違ヒデアリマシテ、極メテ正確ナル實際上ノ手段ニ付キマシテ、考慮ヲ拂ハナケレバナラスノデアリマス、政府モ能フ限リ其ノ考慮ヲ拂ッテ居ル積リデアリマス、例ヘバ勝チ抜キマスル爲ニ財物ヲ國家ニ捧ゲル、

是ハ捧ゲキリノモノハ所謂租稅デアリマス、租稅以上ニ國家ハ要求スルモノハアリマセス、又貯蓄ハ必要デアリマス、是ハ其ノ購買力ヲ戰時中ニハ戰爭購買力、政府購買力、軍購買力ニ向ケナケレバナラス、ドウシテモ貯蓄シテ貰ハナケレバナラスノデアリマスルガ、ソレハ貯蓄デアリマシテ、或ハ是ガ預金ノ形態ト致シマシテモ、公債、社債ニ致シマシテモ、其ノ元利ハ拂ハルベキモノデアリマス、ソコノ限界ハ十分ニ堅ク取ツテ行ク方針デアリマス、獻金ノ如キハ是ハ全ク其ノ當事者ノ麗シイ精神カラ來ルコトデアリマシテ、決シテ私ハ政府モ又他ノ國民モ、之ヲ所謂強要スベキモノデハナイ、心カラ自分ニソレダケノ餘裕ガアリ、進シデヤラウ、斯ウ云フ心カラ來ルノデアリマシテ、是ハ決シテ他カラ強フベキモノデハナイと思ヒマス、眞ニドウシテモ強ヒラレテモヤラナケレバナラスモノハ所謂租稅、是同ジ性質ヲ有ツテ居リマスル國家、地方團體ノ收入デアリマス、ソレカラ元利ハ返リマス、併シドウシテモヤツテ貰ハナケレバナラスノハ貯蓄デゴザイマス、從ツテ國家ガ必要ナルモノヲ國民ノ財産ヲ場合ニ依レバ買ハナケレバナラスカモ知レヌ、是ハ平時デモ公益公共上ノ必要ガアレバ、所謂公用徵收ト云フ制度モアル位デアリマシテ、戰時ニ於キマシテハ、有ラユルモノヲ戰爭ニ勝ツ爲ニ、最モ主ナルモノハ戰時ニ必要ナル軍需品其ノ他ノ生産ノ爲、又其ノ輸送ノ爲ニ向ケナケレバナリマセヌシ、例ヘバ防空ノ爲ニ疎開ト云フコトガアリマスレバ、必要ニ應ジテハ建物モ取拂ハナケレバナラスノデアリマス、是等ノコトニ對シマシテハ、正シキ適當ナル對價ハ必ズ拂フ、費用ガ要ル場合ニハ之

ヲ補償スル、此ノ方針デ行ッテ居ルノデアリマス、若シモソレニ付テ何カ有リトスレバ、サウ云フ對價ヲ求メル、財物ノ公ノ意味ニ提供スル人ガ平時的ノ考デ高ク賣リタイ、高イ對價ヲ貰ヒタイト云フ場合ニハ、ソレヲ正當ナ、適當ナ程度ニ止メタイ、是ハ政府デモサウ云フ意思ハアリマスレドモ、無暗ニ之ヲ安ク引下ゲテ行クト云フヤウナ考ハ毫モナイノデアリマス、實際ニ於キマシテモサウ云フコトハナイト存ジマスルガ、多數ノ當事者關係者ノ間デアリマスルカラ、萬一左様ナ考ヘ違ヒデ、單純ニ御國ノ爲ナラバ何デモ宜イト云フヤウナコトガアツテハナラナイと思ヒマスルカラ、尙今後モ其ノ點ニハ十分ニ注意シテ参リタイと思ヒマス、住宅ノ問題ニ付キマシテモ、人口ハ殖エマス、併シナガラ住宅ヲ増加スル爲ノ木材其ノ他ノ資材ガ他ノ戰力増強ノ爲ニ必要デ、住宅建築ナドニ向ケ得ル餘裕ノ甚ダ乏シイコトハ今更申ス迄モナイ所デアリマス、然ルニ其ノ上ニ人口ノ増加モ一般的デアリマセヌノデ、例ヘバ大キナ軍需工場ガ興リマスト云フヤウナ特殊ノ地域ニハ、急激ニ勞務者等ノ需要ノ増加デ、住宅ノ拂底ガ起ルト云フヤウナ譯デアリマス、非常ニ其處ニ困難性ガアルノデアリマス、ソコデ一面是等ノ地域ニ於キマシテ、勞務者住宅ノ供給ニ努メテ居リマスルケレドモ、何様木材其ノ他ノ點ニ於キマシテ、平素ヨリ増産ヲ致シテ居リマシテモナカク、及ビモ付カナイノデアリマスカラ、在來ノ住宅ヲ成ルベク活用シテ行クト云フコトニハ、是亦出來ルダケ努メナケレバナラスノデアリマス、併シナガラ此ノ同一ノ家屋內、家庭內ニ同居者ヲ強ヒルト云フガ如キコトハ、

嚴ニ戒慎ヲ致シテ居ルノデアリマス、其ノ點ニ付キマシテハ、是ハ稍、内輪話ニナルヤウデアリマスガ、總理大臣ハ特ニ左様ナコトハ我が國ノ家族制度、斯ウ云フコトカラ考ヘテモ十分ニ注意シテ行カナケレバナラス、注意ト云フ以上、寧ロ左様ナコトハ避ケテ行キタイト云フ考ガ非常ニアリマス、單リ是ハ總理大臣ノミナラズ皆同感デアリマシテ、非常ニ其ノ點ニハ、注意ヲ拂ッテ居リマス、斯ウ云フ考デアリマス、今御話ノヤウナコトハナイトハ存ジマスレドモ、尙多數ノ關係當事者ノコトデアリマスカラ、左様ナコトガアリマセヌヤウニ、今後モ十分ニ注意ヲ拂ッテ参リタイト存ジマス

○子爵大河内輝耕君　モウ一ツ御尋ラシタイノハ徵用者ノ所得ノコトデスレドモ、是モ同ジヤウナ關係デ、大分澤山貰ッテ居タノモ一定ノ額シカ貰ヘナイト云フヤウナ建前ニナツテ居リマス、中ニハ兵隊ト同ジニ見レバ宜イデヤナイイカト云フヤウナ話モアリマスレドモ、徵兵ト徵用ト一緒ニ見ルベキモノデモナイと思ヒマス、ソナ議論ヲシテモ仕方ナイ、同ジニ見ルベキデハナイと思ヒマス、矢張り財産ガ相當ノ値デ買ハレルモノナラバ、勤勞モ相當ノ値デ買ハレルベキモノデヤナイカ、ソレヲ賃銀ノ形デ出シテイケナケレバ、又外ノ形デ出スコトモ今デモヤツテ居ラレマス、其ノ爲ニ所得ガ減ルト云フノハ、矢張り同ジヤウニ考ヘテ、穩カデナイコトデヤアルマイカト思ハレルノデスガ、三百圓モ四百圓モ所得ガアル者ヲ連レテ來ルノハ不經濟デスレドモ、ドウモ已ムヲ得ナイ、足りナイ時ハ仕方ナイ、徵用スルコトガ必要ダカラ差支ナイと思ヒマス、併シ其ノ爲ニ收入ハ三分ノ一

カ四分ノ一ニ減シテシマフト云フコトハ穩
カデナイト思ヒマス、ソレデ其ノ點ト、尙
只今家屋又企業設備ノコトデ色々御答モ
アリマシタガ、實際國民ハ……國民ハト云ッ
テモ一同デヤアリマセヌ、或場合ハ隨分困ッ
タ場合モ生ズルノデスガ、サウ云フヤウナ
場合ハ、何カソレヲ救済スルヤウナ方法ガ
アリマスマイカ、今ノヤウデヤナカ……救済
法ガチヨット立タナイ、地方廳カラデモ言ッ
テ來ルト皆泣寝入りニナッテシマフ、甚ダソ
レハ面白クナイト思ヒマスガ、ソナコト
ハ何カ御考ガアリマセウカ、如何デセウカ
○國務大臣(賀屋興宣君) 徵用ニ付キマシ
テハ、今御話モアリマシタヤウニ、他ニ於
テ相當多額ノ所得ガアッタ人ガ、徵用セラレ
テ或事業場デ働クト致シマシテ、其處ニ於
ケル能率ニ對スル報酬ト云フモノガ、從來
ヨリ甚ダ少イト云フ場合ハ十分有リ得ルノ
デアリマスルガ、其ノ場合ニ於キマシテハ、
其ノ收入ノ減少シマシタ差額ヲ或程度補填
致シマス爲ニハ、今國費モ相當出シマシテ、
組織モ出來テ居ルノデアリマス、併シナガ
ラ徵用ト云フモノガ我が國デハ新シイ制度
デアリマス爲ニ、現在ノ事柄ガ經濟的ニ考
ヘマシテモ又精神的ニ考ヘマシテモ、總テノ
點カラ完全ニ行ッテ居ルカト云ヘバ、改善ヲ
要スル餘地ガ多クアルト思ヒマス、厚生省
ニ於キマシテモ、徵用ト云フモノニ對スル
物質的待遇其ノ他ハ、精神的、物質的各方
面カラ考ヘマシテ、更ニ之ヲ改善スベク銳
意考究ヲ致シテ居ルノデアリマス、唯從前
ニ於ケル所得其ノ儘確保出來ルカドウカト
申シマスレバ、是ハ任意ノ勞務ノ就業トモ
違ヒ、又軍ニ召集、應召サレタ場合ト全然
同ジト云ヘナイコトモ御説ノ通りデアリマ

スガ、軍ノ應召ノ場合ニ致シマシテモ、從
來ノ所得ガ確保サレルト云フ譯ニハナカ
ナカ參ラナイノデアリマス、會社ナドニ從
事シテ居ル人ノ中ニハ、會社カラ俸給ノ差
額ヲ支給サレル場合モアリマスガ、其ノ他
ノ自分デ事業ヲ致シテ居リマスヤウナ場合
ニ付キマシテハ、ナカ……サウモ參リマセ
ヌ點ガアリマスコトモ、現在其ノ通りデア
リマス、必ズ從來ノ所得ヲ確保スルト云フ
コトハ、未ダ餘程研究ノ餘地ガアルト思ヒ
マスガ、現在以上ニ尙改善ヲシテ、特ニ徵
用ト云フモノノ國家的精神的意義ト云フコ
トニ付テ、尙之ヲ闡明シ、給與制度ガソレ
ニ應ズルヤウナ方向ニ向ッテ、一段ト改善ヲ
加ヘテ行カナケレバナラヌト、斯ウ考ヘテ
居ル次第デアリマス

○子爵大河内輝耕君 今ノ企業設備ヤ不動
產ノ收用又ハ其ノ他ノ點ニ付キマシテ、殆
ンド私有財産無視ノヤウナ態度ヲ執ッテ來
ル場合ガ官公吏其ノ他ニアルノデスガ、サ
ウ云フモノハ何カ救済方法ハアリマスマイ
カ、簡易ナ救済方法ガナイ爲ニ泣寝入りヲ
スル場合モ隨分澤山アルノデスガ、サウ云
フ點ハ、或ハ大藏大臣ニ伺フノハ少シ惡イ
カモ知レマセヌケレドモ、是モ私有財産確
保ノ點カラ見テ、又擔稅力ノ點カラ見テ、捨
テ置クコトハ出來ナイダラウト思ヒマス
ガ、如何ナモノデセウカ

○國務大臣(賀屋興宣君) 企業整備ノ大キ
ナ工場ノ賣買等ニ付キマシハ、先程御話申
シタ通り、寧ロ非常ナ高値ニ賣買サレテ居
ル、賣ル方ガ強クナリマシテナカ……話ガ
決リニクイ點ガ實際ハアルノデアリマス、
今回議會ニ提出シタ企業整備資金措置法ノ
改正、是ハ寧ロ追加デゴザイマスガ、雙方

ノ話ガ纏マラス場合ニハ政府ノ方デ其ノ
値段ガ決マルヤウニスル、此ノ改正ニ付キ
マシテハ既ニ貴族院デハ御可決ニナリマシ
テ、只今ハ衆議院ニ參ッテ居ルヤウナ次第デ
アリマス、ソレカラ小企業ト申シマスカ、
所謂小賣商其ノ他ノ企業整備ニ付キマシテ
ハ、是ハ現在ノ非常ナ軍ノ動員、及飛行機
其ノ他ノ製造能力ノ増加ノ爲ノ努力ノ必要
カラ申シマシテ、ドウシテモ氣ノ毒ナガ
ラ從來ノ仕事ニ從事シテ居ッテ貰フコトガ出
來ナイ、斯ウ云フ面ガ非常ニ多イノデアリ
マス、又申上ゲル迄モナク從來ノ營業、ソ
レニ扱フ商品、其ノ生産力ヲ戰爭ニ必要ナ
ル兵器彈藥ノ生産力ニ向ケル、サウスルト
扱フ品物ガ非常ニ減少スル、從來ダケノ營
業者ノ數ヲ維持シテ行ケナイ、公ニ申シテ
モ維持シテ行ケナイ、又當業者カラ申シテ
モ從來ダケノ數デハ迎モ收益ガ舉ラヌト云
フ時代デ、ドウシテモ從來ノ店舗設備ヲ賣
ル、商品ヲ賣拂フト云フコトガ必要デアリ
マス、是ハ其ノ事業ニ從事シテ居ル人ニモ
是非必要ニナルノデ、ソレニ付キマシテハ
大キナモノハ産業設備營園デ買上ゲマ
スト云フコトモアリマスルガ、小サナモノ
ハ國民更生金庫ノ働キニ依リマシテ、
其ノ實價值如何ニ拘ラズ相當ナ價格デ、極
端ニ言ヘバ天秤棒一本ヲ何百圓デ買フ、買
フト申シマスヨリモ從來ノ企業ノ利益、
企業ガナクナレバ事業ガ出來ナクナルト云
フコトヲ考ヘテ、一種ノ補償ノヤウナ風ニ
買ヒマシテ、而シテ其ノ買取ッテ設備ハ、何
百圓デ買ッタモノガ何圓ニナラナイ場合デ
モ、結局其ノ差額ヲ追徴シナイト云フガ如
キ色々方法ヲ講ジテ居ルノデアリマス、兎
ニ角新シイコトデアリマスルカラ、整備サ

レル人々モ十分ニ理解ガ行カヌ、又多數ノ
整備ヲ致スノデアリマスカラ、或ハ十分ニ
趣旨ヲ了解シテ貰フコトガ出來マセヌト、
或ハ手續ノ持ッテ行キ方ガ同ジコトデモ、所
謂手荒ク感ズルト云フ場合ガ往々ナキニシ
モアラズト存ジマス、併シ現在ニ於キマシ
テハ、ソレ等ハ餘程公ノ統制團體ヤ地方廳
ナドデモ注意シテ參ッテ居リマス、又國民更
生金庫デモ深切ニ行ッテ居リマスノデ、餘程
從來ヨリ變ッテ來タトハ存ジマス、尙ソレ等
ノ事項ニ付キマシテハ、常ニ氣ノ毒ナル國
民ノ層デアリマスルカラ、深切丁寧ニ扱フ、
深切心ト云フコトニ付キマシテ大イニ重點
ヲ向ケルベキ方面デアルト考ヘテ、關係機
關ヲ十分ニ督勵ヲ致シテ居ル次第デアリマ
ス、ドウシテモ關係者ガ其ノ氣持ニナリマ
セヌト、是ハ結局イケマセヌ、地方廳其ノ
他ノ當事者ガ十分其ノ心持ヲ持チマスヤウ
努メテ居ル次第デアリマス

○委員長(伯爵二荒芳徳君) 丁度十二時ニ
ナリマシタカラ、之ヲ以テ休憩ト致シマシ
テ午後ハ正一時半カラ再會致シマス
正午休憩

午後一時三十八分開會

○委員長(伯爵二荒芳徳君) 午前ニ引續キ
マシテ、本委員會ヲ再開致シマス

○子爵大河内輝耕君 私ノ質問ガチヨット
殘ッテ居リマスルノデ、ソレダケ補ッテ置キ
マス、先程經濟不安ノコトヲ申上ゲタノデ
スガ、尙ソレト同ジヤウナコトガチヨイ……
澤山ゴザイマスケレドモ、極ク端折リマ
シテ、特殊會社ト特殊法人デスガ、アレ
ニ對スル政府ノ負擔ト云フモノガナカ……
大變ナモノデス、處ガアノ特殊會社、特殊

法人ト云フノハ、御承知ノ通り官吏ノ隱居所ニナツテ居リマス、此ノ官吏ノ隱居所ニ付キマシテハ、曾我子爵アタリカラ非常ニアレヲヤカマシク言ハレテ、一時大分其ノ弊ガ直ツテ來タノデスガ、又始メシマツテモウ殆ド一ツ出來レバ、必ズ官吏ガ其處ヘ行クト決リ切ツテ居ル、ヒドイノニナルト誰ガ行ク迄決ツテ居ル、サウシテソレハ月給ダケノ損失ナラバ宜イノデスガ、兎角サウ云フ人達ハ、私達ノ聞ク所ニ依リマスルト、隨分經理上面白カラザル舉動ニ出テ、厄介扱ヒサレテ、月給ダケノ損失ヲ濟マナイヤウナ譯ナノデス、斯ウ云フ弊ハ早く一掃シマセスト云フト、折角國民ガ澤山稅ヲ納入シテモ、食フ物ヲ食ハズニ納入シテ見テモ、コンナ所ニ濫費サレルト云フヤウナコトデハ、自然精神上面白カラザル影響ヲ來スダラウト思フノデスガ、其ノ點ヲ何トカ御考慮願ヒタイト云フコトト、ソレカラモウ一ツハ徵用ノ問題デアリマスガ、徵用ノ所得デアリマスガ、是ハ午前中ニモ伺ヒマシタケレドモ、能ク盡シテ居リマセヌカラ重ネテ伺ヒマスガ、速記ヲ止メテ戴キマス

○委員長(伯爵二荒芳德君) 速記ヲ止メテ

(速記中止)

○委員長(伯爵二荒芳德君) 速記ヲ始メテ

○子爵大河内輝耕君 其ノ點ヲ一ツ御答フ願ヒタイ

○國務大臣(實業興宣君) 特殊會社等ノ重役理事者ニ付キマシテハ、只今ノ御説ノヤウナコトヲ時々拜聽致スノデアリマスガ、此ノ人選ニハ餘程注意致シテ居リマシテ、現職官吏ガ辭メテ行クト云フコトニ付キマシテハ、寧ろ原則トシテ止メテ居リマス位デアリマス、併シ過去ニ官吏ヲヤッタコトノ

アル人ガ皆イカスト云フ譯デモアリマセヌノデ、實際役ニ立ツテ大イニ活動シテ居ル人モ隨分アルノデアリマス、一切役人ノ經歷ノアル者ハ入レナイト云フ譯ニハ無論參リマセヌ、特殊會社ノ能率ニ付キマシテハ隨分色々言ハレテ居リマスルシ、又サウデハナイカト思ハレル點モアリマスルガ、何サマ特殊會社ノ仕事ハソレノ使命ヲ持ッテ居ルノデアリマシテ、唯會社ノ所謂營業利益ガ餘計上ルト云フヤウナ觀點ノミデ判斷ハ致シニクイ點ガナカノ多イノデアリマス、官廳ニ致シマシテモ、經理ニ付キマシテ唯金錢ノ經費ノ多寡、使ヒ方ノミデハ批判ハ出來マセヌ、行政ノ成果ガドウデアアルカト云フ點ニ顧ミナケレバナライナイノデアリマス、此ノ意味デナカノ困難デアリマス、民間ノ所謂營利會社デアリマスルト、結局利益ガ上ツカ上ラヌカデ批判ハ出來マセウ、尤モソレモ今日ノ如キ技術上ノ國家性ヲ多ク認メナケレバナライナイ時ニ當リマシテハ、必ズシモ利益ノミデ批判スルト云フコトハ當ラナイ譯デアリマス、特殊會社ハ一層其ノ程度ガ濃イ關係ニアリマスノデ、所謂非能率のト云フコトモ單純ニハ判斷シ難イノデアリマス、相當ニ結果ヲ擧ゲテ居ルモノモアルト思ヒマス、又會社ニ依リマシテハ、所謂俗ニ申ス採算ノ合ハナイコトヲヤラセル爲ニ出來テ居ル會社モアリマシテ、唯損益勘定カラノミ批判出來ナイコトハ當然デアアルノデアリマス、唯ソレデアリマスカラ、損益勘定ガ批判出來ナイト云フ面カラ、所謂幾ラカ緊張ヲ缺クト云フコトハ、亦人間ノ通有性トシマシテ無キニシテモ非ズデアリマスガ、只今、人ニ致シマシテモ官廳デモ所謂簡素化致シマシテ、是

ハ何モ好シデスル譯デヤアリマセヌガ、人的資源ガ戰爭ノ時ハ非常ニ不足デ、是ハ極メテ重要デアリマスノデ、難キヲ忍ンデヤツテ居ルノデアリマスガ、是等ハ特殊會社法人ニモ同様ニ之ヲ行ハシムル方針デ參ッテ居リマス、十分此ノ運用ニ注意ヲ致シテ參リタイト思ッテ居リマス、徵用ニ付キマシテハ、速記ヲ止メテ御懇談ガアリマシタノデ、私モ速記ヲ止メテ戴キタイト思ヒマス

○委員長(伯爵二荒芳德君) 速記ヲ止メテ

(速記中止)

○委員長(伯爵二荒芳德君) 速記ヲ始メテ

○子爵大河内輝耕君 特殊會社ニ付キマシテハ、ヨク私ノ申上ゲタ事例モ澤山耳ニシテ居ルカラ研究シヨウト云フ御話デ、此ノ點ハ誠ニ結構ナ事ト思ヒマス、又徵用ニ付キマシテモ、色々ナ處ニ色々不備ナ點モアルカラ、之モ十分研究シヨウト云フコトデゴザイマシタノデ、ソレデ私ハ此ノ質問ハ止メテ置キマス、マダ他ニモ伺ヒタイ事ガゴザイマスガ、是ハ又後ノ機會ニ譲リマス

○三井清一郎君 私ハ大藏大臣ガ、今度ノ増稅ニ付テノ財政關係カラ見、又今日ノ戰局ノ狀態カラ考ヘラレテ、此ノ増稅案ヲ御立テニナリ、又將來増稅ニ付テノ見透シ等ヲ御附ケニナツテ今日御提出ノ法律ガ出タモノト考ヘマスガ、此ノ内容ニ付キマシテハ、事前審査及ビ本會議並ニ先刻ノ大藏大臣ノ御説明デ大體了承シ、專ラ所得稅其ノ他法人稅等モ擔稅力ノアル者ニ課稅ヲシ、又或モノニ付テハ從來各所意見ガアツタ緩和規定ヲ設ケ、若シクハ稅ノ賦課徵收制度ノ簡素化等ヲ根本ノ趣旨トナサレテ此ノ案ガ出來タト云フコトハ、内容カラ判斷シ得

ルノデアリマス、今日御承知ノ如ク深刻ナル決戰段階ニ入ツテ、此ノ戰費ヲ調達セラレコトノ御苦心ハ、我々ハ想像ニ餘リアル、子々孫々ニ殘ス公債政策一方デヤ無論イカス、又借入金モ程度ガアル、一般會計ノ繰入モ程度ガアリマセウ、故ニ此ノ大戦費ヲ支出スル爲ニハ、現在ノ國民ガ相當ノ負擔ヲシテ、戰局ノ進展ニ寄與セナケレバナラヌト云フコトハ、何人モ考ヘテ居ル處デアリマスカラ、増稅其ノモノニ付テ何等ノ反對ノ意見ガアル譯ハナイト思フノデアリマスガ、併シ茲ニ政治上、社會上、或ハ現下ノ悽愴苛烈ナル決戰ニ直面シマシテ考フベキコトハ、矢張り國民ガ喜ンデ此ノ擔稅ヲシ、又憲法上ノ納稅ノ義務ヲ完全ニ果スコトヲ矜持トスル氣分デ進マナケレバナラス、サウ云フヤウニ進メサセナクテハナラヌト思フノデアリマス、其ノ點カラ考ヘマス、單ニ戰局ガ苛烈悽愴デアアルカラ、何デモ彼デモ財產ヲ投ゲ出セト云フ一點張りデハイカヌノデアリマスカラ、其處ニ財政當局ノ苦心ノ跡ガ見ラレル譯デアリマス、内容ニ付テ檢討シテ見マシテ、私ハ隨分御苦心ノ跡ガ殘ツテ居ルコトヲ了承スルノデアリマス、ガ此ノ増稅ト、又將來ニ於ケル戰費ノ調達上、更ニ増稅若シクハ新稅ヲ創設スルト云フヤウナコト迄モ御考ニナツテ居ルコトト考ヘマス、是等ノ點ニ付テ御漏シガ出來ルナラ、一ツ腹藏ナキ御高見ヲ御漏シ願ヒタイ、詰リチヨット私ガ考ヘマシテモ、今日所得稅、此處ニ出テ居リマス消費稅其ノ他ガ増シテ來マスルト、矢張り國民ノ生活ヲ、是ハ大藏大臣ノ御説明ガアツタヤウニ、成ルベク贅澤ヲサセナイ、切リ詰メサシテサウシテ貯蓄ヲシ、一方ニ於テ稅ヲ出シ、

此ノ決戰下ニ於テハ國民ハ非常ニ困苦缺乏ニ耐ヘテ行ケト云フ御方針ハ、是ハ何人モ異存ノナイ所デアリマスケレドモ、國民悉クハサウハ行カナイ、現ニ我々ガ一部ノ方面ノ生活狀態ヲ調べテ見マスケレバ、矢張り生活ニ苦シンデ居ル、低物價政策デアリマスケレドモ、事實ハ低物價ニ非ズシテ高物價ニナツテ居ル、併シ統制經濟デアリマスカラ、若干闇其ノ他ニ於ケル所ノ物價ノ程度ニ依ツテ直チニ惡性「インフレ」ガ來ルトハ考ヘマセヌガ、兎ニ角政府ノ期待セラハ、ヤウニ低物價デハ進ンデ居ナイ、生活狀態ハナカ／＼自由經濟時代ノ二倍三倍ニナツテ居ルト云フコトハ事實デアリマス、斯ウ云フ點カラ考ヘテ見マシテモ、増稅ヲシテ消費方面デ節約ヲシテ、或ハ遊動資金ノナイヤウニ、又アルダケ貯蓄スルヤウニ、又稅モ滞納ガナイヤウニシテ行ケバ宜イノデアリマスガ、ナカ／＼サウハ行カヌヤウナ點モアツテ、生活ニ苦シイ餘リ、此處ニ思想上ニ影響ガアツテハナラス、又此ノ納稅ノ憲法上ノ義務トシテ喜ンデ納メルト云フ氣分ヲ何處迄モ今日昂揚シテ行カナケレバナラスノニ、却テ反對ノ效果ヲ來スヤウナコトガアツテハナラス、色々サウ云フ所カラモ亦檢討シ、考ヘテ行ク必要ガアルト思フノデアリマスガ、既ニ政府ハサウ云フ點モ十分御調査ニナリ、又増稅ニ對スル所謂國民擔稅力ヲ能ク御調ニナリ、更ニ新シイ稅ヲ設ケルコトモ十分ノ檢討ヲ要スル意味デ、先ニ延バシテオイデニナルト云フ所カラ見マスケレバ、私ハ御提出ニナツタ案ニ對シテハ、彼此意見ヲ申上ゲル程ノコトハナイトハ信ジマスケレドモ、之ヲ審議スルニ當テ、財政大臣トシテ増稅ニ對スル、所謂戰時財政ノ軍資

金調達ノ上カラ著眼シタ増稅、之ニ付テノ何ト申シマスカ、理念ト申シマスカ、將來ノ見透シト申シマスカ、斯フ云フ點ニ付テ腹藏ナキ御意見ヲ承リタイト思フノデアリマス、此ノ點ニ付テ取敢ズ御話ヲ願ヒタイ

○國務大臣(賀屋興宣) 御答ヘ申上ゲマス、戰時ニ於テハ財政ガ非常ニ重要サヲ増シテ參ルノデアリマス、平時ニ於キマシテ全國家ノ國民ノ經濟ノ活動ノ中デ、ソレガ政府トシテ所謂法律上ノ意味ノ國ノ需要、國ノ消費ニ當リマスル部分ハ極クマア僅カデアリマス、國民所得ノ或ハ一割デアルトデアリマス、處ガ本年度ノ如キハ國家ノ財政ハ大約五百十億圓デアリマス、國民所得モ大イニ増加致シマス見込デアリマスガ、六百億圓ニナル、唯豫算ト國民所得トヲ比較致シマスレバ、全國民ノ所得ノ八割以上モ國費ガ必要アルト云フヤウナ次第デアリマス、唯大東亞戰爭ノ進展ニ應ジマシテ、經濟ノ基盤ガ共榮圈內各域ニ擴ガリマシタ、其ノ爲ニ七十億圓ト云フモノハ外デ調達スルコトガ出來マス、又若干雜收入ノ、特ニ國民ノ負擔トシテノ意味合デアイ收入モ考ヘラレマシテ、他ノ機會ニモ申上ゲマシタヤウニ、四百二十五億圓ト云フモノハ財政資金トシテ要ル譯デアリマス、是ハ矢張り全國民所得ノ七割強ノモノガ財政資金トシテ要ル譯デアリマス、非常ナ大部分ヲ財政ガ國家經濟ノ中デ占メルコトニナリマス、又國民所得モ財政ノ需要ヲ充足スル爲ニ殖エ、又殖エナケレバナラスト云フ場面ニナリマス、是ダケノ多クノ國費ガ使ハレマスノニハ、飛行機其ノ他ノ兵器、軍需品ノ増產ヲシナケレバナラスト云フコトガ、同時

ニ財政ノ増加、國民ハ之ヲ造リ拔カケレバナラス、國民所得ノ増加モ平時ノ如ク漫然ト、自然ノ經濟ノ發達トシテ増加スルト云フコトデナク、厭ガ應デモ米英ニ勝チマスル必要ナルダケノ飛行機、軍艦、戰車大砲、之ヲ造リ上ゲナケレバナラス、造リ上ゲレバ、國家ハ只デ働カス譯デアリマセヌノデ、相當ノ對價ガ出マスノデ、國民所得モ殖エルト云フ位ノコトデアリマス、ソコデ、國家經濟ノ中デ非常ニ財政ガ重要ナル部分ヲ占メマス、此ノ全部ノ賄ヲドウシテ付ケテ行クカト云フコトガ、財政ノ重大ナル問題デアリマス、ソレニハドウシテモ、十九年度デ申シマスレバ四百二十億圓ト云フ財政資金ヲ作ラナケレバナラス、更ニ今年度ノ如キハ、比較カラ申シマスレバ、所謂生産力ノ擴充ト云フモノハ比較的少イノデアリマス、詰リ明日ノ生産ノ爲ノ生産力、明日ト言ヘバ無論明年以後デアリマス、ソレヲヤルコトモ大切デアリマスガ、今生産ヲスルコトガ大切デアアル、今飛行機ヲ作ルコトガ大切デアアル、五年後ニ出來ル飛行機ノ設備ヲ作ル爲ニ、其處ニ資材ヲ持ッテ行キ勞務ヲ持ッテ行キ、金ヲ持ッテ行キマス、其ノ結果、今出來ル飛行機ノ數ガ少クナツタノデハ寧ロイケナイ狀態デアアル、ソレデ生産力擴充資金ハ割合少イノデアリマスガ、ソレデモ少クモ六十億ハ豫定シテ置ク必要ガアル、合セテ四百八十億、國民所得ノ八割ハ財政資金或ハ財政資金ニ準ズルモノトシテ之ヲ作ッテ行カナケレバナラス、サウシナケレバ金ノ方面デモ戰爭ガ出來ナイ、之ヲ何トシテモ作り上ゲルト云フコトガ財政トシテ必要ナル譯デアリマス、例年其ノ方針デ參リマシタ譯デアリマス、之ガ爲ニハ、先

ジドウシテモ是ハ租稅及國債ニ依ル外ハナイノデアリマス、兩者ヲ如何ニ區分スルカト云フコトハ第二ト致シマシテ、總額ハドウシテモ作ラナケレバナラス、是ハ第一ノ必要デアリマス、其ノ爲ニハ、モウ單純ニ唯金ノコトダケ考ヘテ居ル譯ニ參ラナイノデアリマシテ、國民ノ所得ガ六百億アル、是ハ細カク申上ゲマスレバ用役所得、振替所得等モアリマスガ、大體ニ於テ是ハ生産ニ依ル所得デアリマスガ、ソナナ澤山國民ハ働キ出ス、作り出ス收入ガアルト申シマシマスガ、之ニ依ツテ作ルモノハ、平時ナラバ是ハ國民ガ食ベルモノ、着ルモノ、觀テ娛シムモノ、所謂生活ノ消費ニ充テルモノヲ大部分作ル譯デアリマス、今ハ、サウ云フモノヲ作ルノニ役立ツ勞力、ソレニハ電氣モ要リマス、石炭モ要リマス、工場モ要リマシマスガ、ソレヲ皆擧ゲテ軍需品ノ生産ニ向ケルノデアリマス、生産其ノモノハ非常ニ何百ト出來マスガ、是ハ軍需生産デアツテ、國民ノ生活ニ充テルモノハ平時ヨリ遙カニ少イモノシカ作ラナイ、購買力ノ方向ヲ規正シナケレバナラスシ、ソレニ應ジタ國民ノ生活態度ト云フモノガ執ラレナケレバナラス、詰リ金ガ動ク元ノ「スキツチ」ノ切り方、又管デ申セバ、ドノ位流レルト云フ其ノ元カラ變ヘテ掛ルト云フ施策ガ必要デアリマス、其ノ意味ニ於キマシテノ勤勞ノ増強、消費ノ節約、是カラ起ル貯蓄、又納稅、此ノ觀點ニ入ツテ施策ヲシテ行カナケレバナラスト云フコトヲ根本ノ方針ト致シテ居リマス、其ノ方針ハ國民トシテハ相當困難デアリマス、多クノ收入ヲ得、而モ費スコト少ク行カナケレバナラス、斯ウ云フ面ガ重大ナル困難ガアルノデアリマスガ、ソレヲヤラナケレ

バナラス、併シ其ノ收入ノ増加ト云フコトハ、又一面カラ申セバ、是ハ今ノ御説ニモアリマシタト思ヒマスガ、勿論全部ニ均分ニ參リマセヌ爲ニ、一方デハ非常ニ増加スル人ガアルガ、一方デハ増加セズ、場合ニ依レバ減少シ、而モ物價ハ相當高クナッテ困ルト云フ、此ノ面ガ一方ニアリマス、ソレ等ノ點ノ調節ヲ十分ニ考ヘテ參ラナケレバナラス、斯ウ云フ點ガ大キイノデアリマス、從ヒマシテ税制ヲ考ヘル上ニ於キマシテモ、國民生活ノ必需品ニハ殆ド手ヲ著ケナイデ行キタイト云フコトガ、重要ナル一ツノ觀點ニナッテ居リマス、今物品税或ハ遊興飲食税等、支那事變以後起リマシタ一聯ノ新税デアリマスガ、是等ハ徵税モ簡單……收入ノ増加ト云フ點カラ申シマスナラバ、所謂賣上税、取引税ト云フヤウナ總テノ商品ニ課税致シテ參リマスコトガ、簡單ニシテ多額ノ增收ヲ得ル所以デアリマス、併シナガラサウ致シマスレバ、其ノ消費ノ性質ニ應ジテ區分ヲ設ケルコトガ非常ニ困難デアリマス爲ニ、所得ノ増加シマシタル階層ニ取ッテハ何デモナイカモ知レマセヌガ、所得ノ増加ガ國民ノ全部ニ一樣ノ割合デ參リマセヌ爲ニ、一部ノ國民ニ取リマシテハ非常ナル困難ヲ覺エル、斯ウ云フコトニモ相成ルノデアリマス、ソコデ課税ノ上ノ各種ノ困難ヲモ忍ビマシテ、只今ノヤウナ奢侈の課税ノ方向ヲ採用致シテ居ル譯デアリマス、將來ノコトヲ御約束申上ゲル譯ニハ參リマセヌガ、是ガ少クトモ今日迄一般的ニ賣上税ヲ取引税ノ如キ制度ヲ採用シテ居ラス重大ナル理由デアリマス、ソレカラ今ノヤウニ所得ハ増大ヲ致シマス、全國トシテ見マスレバ、……是ハ増大サセ

ナケレバナラス、併シ所得ノ増加スル階級ニ取リマシテハ、所得ハ増加シテモ、所謂生活ノ程度ハ上ゲナイ、否、寧ロ切下ゲテ、茲デ多額ノ貯蓄ヲ作ラナケレバナラス、斯ウ云フ必要ガアル譯デアリマス、又收入ノサシテ増加セザル方面ニ於キマシテモ、一方消費ヲ非常ニ切詰メテ行クト云フ必要性ガ非常ニ強イノデアリマス、出來レバ其處ニ財産ノ増加ト云フコトガ、各國民ニ取ッテ起ル事象ニシナケレバナラス、而モ其ノ財産ノ増加ハ、不動産ハ新タニ是ガ出來ル譯デモアリマセヌ、土地ガ増加スル譯デモアリマセヌ、皆是レ或ハ國債、或ハ時局ニ必要ナル産業……是ハ單リ内地ノミナラズ、外地又ハ滿洲、支那、南方ニモ興リマスルガ、是等ノ多クノ企業ノ株式デアリ、社債ニ應ズルト云フ性質ノモノデアリマス、又國民蓄積トシマシテハ、預金ガ殖エテ、其ノ預金ガ社債、株式、公債ニモ代ルト云フ、結局預金、有價證券ト云フ形ノ財産ノ増加ト云フコトハ極メテ必要ナノデアリマス、其ノ理由カラ申シマシテ、財産税ヲ起スト云フコトニ多分ニ躊躇シマスル原因モアルノデアリマス、財産税ヲ多ク議論サレマスルガ、財産税ハ是ハ寧ロ富ノ分配ニ對スル調節デアリマス、所得ガアルカラ掛ケルト云フ譯デモナク、所得ガアルナイニ拘ラズ、所得ハ所得トシテ、アレバ掛ケルガ、其ノ他財産ガアルカラ掛ケルト云フ譯デアアル、寧ロ今申シタ意味ノ財産ノ増加、大變大キナ金持ガ出來テモ結構デアリマスガ、寧ロ國民一般ガ所謂恆産ノアル程度ニ行キタイ、是ガ國家ソレ自身ノ需要ヲ充シ、國家ノ榮エル所以デアリ、又國家ヲ構成スル各國民ガ堅實ニナル所以デアリマス、之ヲ考ヘマ

スレバ五千圓、一萬圓、二萬圓、皆國民ガサウ云フ風ニ主トシテ國債、社債、株式等デ持ツヤウナコトニナリタイト云フコトデアリマス、財産税ヲ掛ケレバ結局不動産トサウ云フモノヲ狙フ外アリマセヌ、非常ナ手數ガ要ッテ、而モ是ガ不動産重課ト云フコトニナレバ、結果ハ餘リ好マシクアリマセヌ、今ノ有價證券ニ對シテノ課税ト云フコトニ對シマシテモ、今申上ゲマシタヤウナ邊デドウカト思ハレル點ガアルノデアリマス、其ノ上ニ是ハナカク手數ヲ要スルモノデアリマス、從ッテ財産税ト云フコトニ付キマシテハ、一方色々議論モアリ、又其ノ議論ニ大イニ參考ニナルト申シマスカ、採ルベキ點ガ無論ナイトハ言ヘナイノデアリマスガ、多分ニ今日デハ躊躇スル理由モアルト思フノデアリマス、大體戰時低物價ト申シマスルガ、低物價ト云フコトハ言葉トシテハ正確デアリマセヌ、是ハ主トシテ物ノ勢ヒカラ出タ言葉デアリマス、勢ヒカラ出タト云フコトハ多少不完全デ、是ハ説明ガ要リマスガ、戰時ニハ物價ハ露骨ニ申シテ高クナルノデアリマス、戰爭スル爲ニハ、飛行機ハ五萬アツテモ十萬アツテモ、モウ宜イ、要ラナイト云フコトハナイ、大砲モサウデアリマス、戰車モサウデアリマス、日本ガ非常ナル軍需品ノ増産ヲヤッテ居ル、是ガドレダケ出來ルカト云フコトヲ示スハ戰力ヲ示ス譯デアリマシテ、秘密デアリマスガ、誰ガ想像シテモ平時ニ比ベテ數十倍、數百倍生産シテ居ルト云フコトハ明瞭デアリマス、ソレダケ生産ガ殖エテモ是ハ足りナイノデアリマス、デアリマスカラ平時のニ物價ガ放任サレテ居レバ、是ハ戰用品、軍需品其ノモノノ昂騰ト云フコトガ起リマス、又國民ノ生活必

需品、或ハ奢侈的ナモノモ、兎ニ角生活ニ必要ナルモノモ、同様若シクハ以上デアリマシテ、戰時ニハ今申シタヤウニ軍需品ヲ造ル爲ニ國民ガ働クノ所得ガ殖エルノデアリマス、殖エタ所得ヲ持ッテ居ッテ、生活ニ必要ナル物資ノ生産ハ甚ダ少イノデアリマスカラ、是ハモウ生活消費ニ要リマスモノダケ言ヘバ、自由ニシテ置ケバ、金ト物トノ調和ガ出來ル筈ガナイノデアリマス、非常ナル其處ニ其ノ面ニ於テモ物價ノ暴騰ト云フコトガ起ルノガ自然デアリマス、併シ是ガ起リマシテハ、モウ騰貴底止スル所ヲ知ラズ、所謂惡性「インフレ」ニナルノデアリマスカラ、之ヲ上ガラムトスル危急ヲ一生懸命引止メルノデアリマスカラ、低ク置キタイト云フコトカラ低物價ト申シマスノデ、低クシタイト思ッテ引止メラレテ居ルノデアリマシテ、日本等モ隨分上ガツテ居リマシテ、公定物價ハ支那事變ガ始ツテ以來幾割、歐洲戰爭開始以來マダ三割ニナラスト云フコトヲ申シマス、ナアニ闇ガアルカラサウ云フコトヲ言ツテモドウナルカト云フコトニナリマスガ、併シ闇ハ世界何處ニモアル譯デアリマス、ソレデ公定物價指數デ比較スレバ、マア「ドイツ」ノ次ハ日本ガ良イ狀態デアアル、「イギリス」ガ稍、日本ニ似、米國ハ騰貴率ガモット多イ譯デアリマス、併シ「ドイツ」ニ於テハ是ガナカナカ物價モ數字ダケデハ言ヒ得マセヌノハ、「ドイツ」ハ生産費ヲ少クスル爲ニ租税ヲ減免シテ居リマス、サウ云フ關係デ稍、實際ヨリハ低ク見エル點モアラウカト存ジマス、今「ドイツ」ハ歐洲戰爭始ッテ以來百分ノ八ノ増加、日本ハ二十八ノ増加ト機械的ニ出マスガ、ソレハ實際ハ「ドイツ」ハ十

三カ十五デアルカモ知レマセス、併シ日本モ非常ニ闇ガアルヤウデアリマスガ、是ハ公定物價ハ左様ナ次第デアリマス、闇モ色色アリマスガ、チヨット速記ヲ止メテ

○委員長(伯爵二荒芳徳君) 速記ヲ止メテ

(速記中止)

○委員長(伯爵二荒芳徳君) 速記ヲ始メテ
○國務大臣(賀屋興宣君) 所謂俗ニ新興階級ト申シマスルカ、詰リ從來日傭ヒ労働者ノ方面デゴザイマスルト、是ハ課税上實際ニ之ヲ捕捉シヨウト云フ、固イ突キ詰メタ考ノ必要ガナカッタと思ヒマス、一日ニ二圓五十錢位ノ賃銀ノ者ハ決シテ高イ方デモ平均ナカッタデアリマス、ソレガ毎日殘ラズ働キマシテモ月七十五圓ノ譯デアリマス、サウ云フ者ハ雨天ガアル、色々休日ガアル、又傭ヒ手ガナイ、月ニ二十日位シカ日ガナイ、其ノ上ニ別ニ賞與ト云フモノモナイノデアリマス、サウスルト約六十圓、年ニシテ七百二十圓、ソレガ又扶養家族ノ控除デモアルト云フ、サウ云フ人ハ相當家族ノアルノガ普通デアリマスルカラ、大體ハ所得稅ナドガ掛ル程度ニ行ッテ居ナイ、斯カルモノハ所謂附加課稅取レバ宜シイガ、サウ比較の強力ナ階級ニシテ稅ヲ取ルトガ何トカ言ッテ、餘リ者ヘスデモ宜イ階級ニアッタト思フノデアリマス、ソレガ時局ノ變化ニ依リマシテ賃銀ノ單價モ隨分騰ツタ、單價ガ騰ルバカリデナク、モウ所謂仕事ノ無い日ト云フモノガナクナツタ、自分デモウ金ガアルカラ遊びタイ、頼ム方カラ言ヘバ大工デモ左官デモ、手ノ足ラヌダケノ申込ミガアル譯デス、是ハ多數ノ勞力ガ第一線ニ非常ニ多ク動員サレ、軍需産業ニ動員サレテ、非常ニモウサウ云フ風ナモノハ足りナイ譯

デアリマス、軍需産業方面デモ足りナイ、或ハ普通ノ大工、左官、植木屋、サウ云フモノハ殊ニ足りナイ、モウ此處デ一年中……出來レバ一日ヲ二日ニ働イデモ宜イ位ナ仕事ガアル、單價ガ矢張り稼働日數ガ殖エマシタカラ、十分ニ課稅ノ圈ニ入ッテ宜シイ狀況ノモノガ非常ニ殖エタ譯デアリマス、處ガ之ヲ附加課稅認定ガ行クカト云フト實際ニ出來マセス、サウカト云ッテ官吏デアルトカ、會社員デアルトカ、工場勞務者ノ如ク、今ノ分類所得稅ヲ取リマスヤウニ源泉デヤルト云ッテモ困難デアリマス、何トカヤリ方ヲ變ヘナケレバナラヌ、斯ウ云フ場面ガ出來テ參リマシタ、是ガ所謂今回ノ改正案ニ於キマスル丙種ノ事業所得ト云フモノデアリマス、事業所得ト申シマスルガ、内容ハ全ク勤勞所得デゴザイマス、サウシテ困難デハアリマスルガ、給料ノ支拂者、斯ウ云フモノモ事實上親方カ勞力供給業者等ガ、實際ハ相當アル譯デアリマスルカラ、又サウ云フモノモ、產報トカ色々モノノ組織ガ活動シテ居リマスノデ、比較的捕捉ヲシ易イ狀況デアリマス、ソレニ努メマシテ、其ノ源泉課稅ノ掛ケ方モ亦事情ガ違ヒマスカラ、從來工場、會社、官廳等ト違ッタ、比較的簡單ナ控除其ノ他デ參リタイト云フ、新構想ヲ茲ニ出シマシタヤウナ譯デアリマス、處ガ斯ウ云フ風ニ日傭労働者ダケデハ、新興階級ト云フモノハ濟マナイノデアリマシテ、小企業家ト申シマスルカ、製造業ニシマシテモ、運送業ニシマシテモ、又斯ウ云フ勞務供給ノ親方ニシマシテモ、自分ガ一ツノ小サイナガラモ企業、事業ヲヤル、斯ウ云フ面ガナカ……收入ノ多イ者ガ澤山出テ參リマシタ、是ハドウシテモ今ノヤウ

ナ源泉課稅デ行ク譯ニ行キマスヌ、所謂附加課稅デ行ク外ナイ、之ニシマス、稅法ヲ變ヘテドウヤルト云フコトハドウモ今迄發見シマセヌ、所得ガドレダケアルカト云フコトヲ認定スルニ必要ナル資料ヲ取ルト云フ面、是ハ今回ノ改正法デモ規定ヲ致シテ居リマスルガ、大體從來ノ所謂附加課稅デ取ル外ナイ、ソレデヤドウスルカト云フト、今迄サウ云フモノハ稅務署ノ署員ガサウ云フモノヲ對象ニシテ稅ヲ取ルト云フコトニ慣レテ居ナイ、事情ガ十分ニ分ッテ居ナイ、月給取トカ從來カラノ商賣ナラ、其ノ所得ヲ正確ニ捉ヘルコトハ從來カラ慣レテ居リマスカラ、訓練ガ出來テ居リマス、サウデナイモノガ出テ來タノデアリマスカラ、是ハ稅法ノ問題ト云フヨリモ稅務署ノ人ノ頭ヲ、知識ヲサウ云フ方面ニ向ケテ、課稅ノ實際デ捕捉スル方向ニ進マナケレバナラヌ、斯ウ存ジテ居リマス、ナカ……困難デアリマスルガ、其ノ方面ニ色々研究ヲ進メ、歩ヲ進メテ參リタイと思ヒマス、是等ガ又今年一年、或ハ先モ實行シテ見マシテ、其ノ結果更ニ是ガ法律ノ上デ、制度ノ上デ斯ウシタラバ其ノ捕捉ガ正確ニ行ク、十分行クト云フヤウナコトヲ發見致シマスレバ、是ガ將來ノ稅制ノ上ノ一ツノ問題ニモナリ得ル點デアリマス、一番重要ナノハ、矢張り今申シタ所得ノ増加シマスル層ガ變ッテ來テ、課稅ヲシテモ宜イ、課稅ヲシナケレバナラヌモノガ、從來餘リ眼ヲ著ケテ居ナカッタ方面ニ是ガ相當ニ澤山出テ來タ、其ノ方ヲ的確ニ捕捉シテ行クト云フコトガ重要ナル一點ト存ズルノデアリマス、是ハ貯蓄ノ問題デモ同様デアリマシテ、二百三十億ガ二百七十億ニナリ、二百七十億ガ三百五

十億ニナル、此ノ割合デ各個ニ均分ニ増シマシタラ、是ハ行詰ルニ決ッテ居リマス、所得ノ増加ノ割合ガ一樣デナイノデアリマスカラ、ソコノ區分ヲ著ケテ進ムト云フコトガ大切デアリマス、是ハナカ……困難デアリマスルガ、矢張り稅同ジク其ノ方ニ施策ヲ進メナケレバナラヌ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居リマス、大體……

○三井清一郎君 只今藏相ノ増稅案ヲ御樹テニナル心構ヘニ付テ、腹藏ナク諄々ト御話ニナツタ點ハ有難ク感ジマスガ、同時ニ將來ノ新稅等ニ付テ御意見ヲ承ッテ非常ニ安心ヲシタノデアリマス、無論新稅ニ付テハ將來御研究ニナルノデアリマセウガ、先ヅ私等ノ新聞等ニ出タリ、或ハ若干ノ人ノ言フ所ノ財產稅ノ創設ナドト云フコトヲ聞キマシテ、私ハ非常ニ不愉快ノ感ヲ持ッテ居リマスガ、只今藏相ノ御說明ヲ承ッテ非常ニ安心ヲシタノデス、我ガ國ノ此ノ家族制度ガ發達シテ、祖先崇拜ノ觀念ハ所謂驕國ノ精神、之ヲ何處迄モ昂揚シテ大東亞建設ニ邁進セナケレバナラヌ時ニ於テ、祖先ノ遺シタ財產ヲ一々調ベラレテ憲法ノ保障アルニモ拘ラズ調ベテ、刀一本持ッテ居ルノデモ價ヲ決メテ財產稅ヲ課スルト云フヤウナ新稅ハ、私ハ甚ダ面白クナイト考ヘテ居ルノデアリマス、此ノ財產稅ナドニ付テ御研究ニナリ、又是ハ餘程考慮ヲ要スルト云フ御意見ハ、私ハ非常ニ満足スル次第デアリマス、尙此ノ稅法ノ案ニ依リマス、詰リ今日ノ免稅點ヲ引下ゲルヤウナ事ヲナサツテ居ナイト云フコトハ只今御說明ガアリマシタ、下級所得者ヲ保護スル所以デアリ、此ノ點ニ付テモ私ハ嬉シク感ズルノデアリマス、唯是ハ解釋ヲ異ニスル點デアリマスガ、藏相ハ生活費ニ或

程度ハ所謂統制ノ爲ニ思ウタ程ニ高クナラヌヤウナ御考ヲ持ッテ居ラレヤセヌカト云フ感ジガシタノデアリマスルケレドモ、是ハ一ツ其ノ點ハ農商省或ハ厚生省、其ノ他關係省ノ方デ良ク調ベテ居ラレマセウガ、ナカ／＼我々モ餘程良ク調査シナイト云フト、其ノ事ハ徹底的ニ申サレヌノデ、是ハ此ノ程度デ止メテ置キマス、次ニ新稅ヲ考ヘル人ノ中ニハ、國民稅トカ公民稅トカ云フヤウナ考ヲ持ッテ居ル人モアルノデ、現ニ衆議院ノ増稅案ノ委員會デモ、其ノ意見ガ出テ居ッタヤウデアリマス、私ハマダ詳シク讀ンデ居リマセヌガ速記ニモ載ッテ居ル、處ガ現ニ市民稅或ハ國民稅ト云フカ都民稅ト云フカ、サウ云フ稅ハ地方稅トシテ賦課シテ居ル、委員長速記ヲ止メテ戴キタイ

○委員長(伯爵二荒芳德君) 速記ヲ止メテ(速記中止)

○委員長(伯爵二荒芳德君) 速記ヲ始メテ○國務大臣(賀屋興宣君) 今市民稅、東京ハ都ニナリマシテ都民稅ニ付テ御話ガアリマシタガ、東京ノ現在ノ都民稅ハ國稅ノ中ノ所得稅、其ノ中ノ綜合所得稅、ソレト家屋ノ賃賃價格、二ツノ基準デ是ガ定メラレテ居リマス、ソレデ此ノ二ツノ基準ヲ採用シテ都民稅ヲ高ムルコトノ可否、是ハ今其ノモノトシテハ私ハ可否ノ論ハ差控ヘルノガ適當デアリマス、是デ以テ有ラユル者ノ貯蓄ナリ、ソレカラ外ノ寄附ナリノ各戸ノ割當ノ標準ニスルト云フコトハ、是ハ極メテ當ラ得ザル場合ガ非常ニ多イノデアリマス、各町内會等ノ實情ヲ見マシテモ、相當ニ行キ届イタ町内會長等ハ、此ノ標準ニ依ッテハ貯蓄ヲ寄附ニ無理ガアルト云フノデ、色々他ノ標準ヲ考ヘテ、其ノ標準ニ依ッテ

極メテ好イ結果ヲ擧ゲテ居ル所ガ相當アルヤウデアリマス、デ此ノ事ハ何モ都民稅ノ決メ方ガ直グ惡イト云フ結論ニハナラヌト思ヒマスルガ、貯蓄等ノ場合ニハ、是デ符ケバ非常ニ不合理ガ多イノデアリマス、都民稅ダケナラバ金額ガサウ多額ニ上リマセヌカラ、ソレデ宜シウゴザイマスガ、其ノ何倍ト云フモノガ一月置キニ公債消化ノ割當ガ來ル、毎月當然貯蓄ヲシナケレバナラヌト云フコトニナリマス、無理ガ出來マヌノハ、ソレハ色々理由ガアリマス、是ハ稅自體ノ面ニモ關係ガアリマスガ、貯蓄ノ點ヨリ申シマスレバ、今回ノ改正案ニモ一ツ出タ所ガアリマスガ、假ニ今滿洲、支那等ニ在リマシテ、相當ノ所得ノアツタ人ガ内地ニ歸リマシテ、會社ヲ轉動シテ相當ノ所得ガアルトシマス、綜合所得稅ハ前年度ノ所得ヲ基準ニシテ掛リマスカラ、歸ッタ年ハ稅ハチツトモ掛リマセヌ、翌年モ半年シカ居ナイコトニナリマスカラ半分シカノ低イ稅デアル、サウスルト云フトソレデ以テ都民稅其ノモノガ決メラレテシマフ、其ノ割合デ行クト云フト非常ニ其ノ人ハ低イ稅シカ掛ケナイノデアリマスガ、今日綜合所得稅ハ綜合所得參リマスルガ、是ハ其ノ家ノ生計狀態ト云フコトニハ、關係ガ比較的少イノデアリマシテ、同ジ收入ガアリマシテモ、家族ノ數ノ多寡、同ジ家族ノ數デアリマシテモ其ノ狀態、例ヘバ高級ノ學校ニ行ク子供ガ多イトカ少イトカ、或ハ病人ガアリマスルトカ、色々最低限度ノ經費ニ致シマシテモ狀況ガ違ヒマス、又住宅ヲ自ラ所有シテ居ル者モアレバ、高キ家賃ヲ拂ッテ借りテ居ル者モアリマス、又色々實物收入ノ多寡モアリマス、只今ノ如ク非常ニ高度

ノ貯蓄ヲシマスル場合ニハ、最少限度ノ生活ヲシテ、残りハ税金ヲ拂ッテ、アト全部貯蓄スルト云フ時ニ於キマシテ、此ノ收支ノ狀態ヲ考ヘナケレバナラヌノデアリマス、都民稅ハ其處迄ハ考ヘル組織ニナッテ居ナイノデアリマス、是等ノ點ガ大變ニ實情ニ合ハナイ譯デアリマス、デ貯蓄ノ方ノ指導ニ致シマシテモ、ソレ等ヲ如何ニ斟酌シテ行クカト云フコトニ付テ出來ルダケノ努力ヲ拂ッテ居ルヤウナ次第デアリマシテ、有ラユル場合ニ市民稅ヲ基礎ニシテ行クト云フヤリ方ハ、是ハ適當デナイ、色々面倒、困難ハアリマスルガ、其ノ事柄ニ依リマシテハ都民稅ハソレデ宜シイト致シマシテモ、別ノ標準デアルトカ、或ハ都民稅ヲ基準ニシテ割出シタモノニ對シテ増減ノ斟酌ヲ餘程シテ參ルト云フトデナケレバナラヌト思フノデアリマス、尙國民稅ト云フコトニ付キマシテハ、是ハ色々ノ人ノ説ガアリマシテ、何ガ國民稅デアルト云フコトハ一定ハシテ居ラナイ次第デアリマスルガ、大體ノ思想ヲ見マスルニ、此ノ際國民全部ハ皆國稅ノ爲ニ有ラユル意味ニ於テ盡サナケレバナラヌ、然ラバ稅ニ於テモ全部ノ國民ガ之ニ盡スト云フ意味ニ於テハ、色々所得稅トカ各種ノ稅ガアリマスルガ、人數カラ言ヘバマダ國民ノ多數ト云フモノハ直接稅ハ拂ッテキナイ、直接ニ自分ガ拂フト云フコトガ精神的ニモ大切デアリ、又國家ノ收入ガ出來ル所以デモアル、デ苟モ收入ガアリ得ル年齡ニ在ル者ハ假令少額デモ之ヲ納メタラ宜イデハナイカ、ト云フヤウナ思想ガ主トシテ一貫ヲシテ居ルヤウニ思ヒマシテ、其ノ考ヘ方トシマシテハ大イニ尊重ヲシナケレバナラヌ面モアルト思フノデアリマス、

唯實際ノ課稅ノ標準ヲ如何スベキカ、徵稅ノ方法ヲ如何スベキカ、ソレ等ノコトニ付キマシテハマダ色々研究ノ餘地モアルヤウニ思フノデアリマス、或ハ將來研究ノ題目ニモナラウカト思ヒマスルガ、只今ノトコロデハ現在ノ案ニモ入レテアリマセヌヤウナ次第デゴザイマス

○三井清一郎君 市民稅、都民稅ニ付テノ御見解ハ私ハ非常ニ喜バシク感ジマス、アレヲ基準ニスルト云フコトハ我々ハ不當ダト考ヘテ居ル、次ニ具體的ニ入ルンデヤアリマセヌガ、矢張り一般論トシテ私ハ相續稅ト云フモノニ付テノ一ツノ考ヲ持ッテ居ル、今日我國ハ眞ニ自己主義ト云ヒマスカ自由主義ト云ヒマスカ、其ノ着物ヲ脱ギ捨テテ建國ノ精神ニ還ッテ、サウシテ此ノ大東亞戰爭ニ勝チ抜イテ、所謂八紘爲宇ノ精神的建設ヲナサムトスル時ニ於テ、此ノ祖先崇拜ノ氣分ヲ銷磨スルト云フコトハ私ハ重大事ダト考ヘテ居ル、相續稅ガ無暗ニ高ク二代續クカ三代續クカ、全部ナクナッテ來ル、或ハ相續稅ハ日本ガ一番低イ、モット課シテ、殆ド一旦相續フスルト半分以上取ッテ宜イト云フ議論モアリマス、ソレハ議論ノ立テ方、國情ガ違ヒマス、西洋ノヤウナ個人主義デ親モ子モ皆獨立シタ考ヘヲ以テ祖先モ考ヘナイ、家族ト云フコトノ觀念ガ乏シイ所デアッタナラバ、是モ稅ヲ取ル上ニ付テ一ノ有力ナル財源デアリマセウ、ガ我國ノ此ノ祖先崇拜ノ精神ヲ益、昂揚シテ今日ノ戰ニ勝チ抜カクナクチャナラヌ時ニ、無暗ニ相續稅ヲ上ゲテ、二代目三代目ニハ祖先ノ墓場ハ倒レテシマフト云フヤウナコトガアッテハナラヌト私ハ思フノデアリマス、併シ現在此處ニ出テ居リマス相續稅ノ程度ヲ私ハ

否認スルノデアリマセヌ、此ノ程度ナラ無論宜イノデアリマセヌ、將來ニ付テ私ハ希望ノ意見ヲ述ベルノデアリマセヌ、是ハ一ツ餘程考ヘテ戴キタイ、兎角思想方面カラ見マスルト、一方ニ階級ガ上ダトカ、一方ニ財産ヲ持ッテ居ルトカ、ソレヲ呪フヤウナ氣分ガ兎角アリ易イ、併シハ私ハ餘程財産ヲ持ッテ居ル人ハ矢張り敬意ヲ拂ッテ財産ヲ持ッテ置ク、活動ヲシテ財産ヲ作ル人ハ財産ヲ作ラシテ置ク、是ガ他日國家ニ事有ツタ時ニ役ニ立ッテ居ル、今日我が國ノ此ノ千億以上ノ軍費ヲ賄ッテ尙且ツ餘裕綽々タルモノハ、此ノ先輩ガ皆活動シテ國ノ富ヲ増シテ、所謂個人ノ富、即チ國ノ富デアアル此ノ富ヲ増シテ結果、國債ニ應ズル、貯蓄ヲシ、ソレヲ政府ガ利用スル、サウシテ戰費ヲ賄ッテ行ケルノデアリマス、此ノ金ヲ儲ケタノヲ單純ナル利潤追求ノミト云ウテ叩クト云フコトハ、私ハ餘程是ハ考ヘ物デハナイカト思フノデアリマス、故ニ私ハ斯ウ云フ意味カラシテ、相續稅ノ如キハ極端ナル課稅ハ餘程研究ヲ要スルト考ヘテ居ルノデアリマス、之ニ對スル藏相ノ所見ヲ伺ヒタイ

○國務大臣(賀屋興宣君) 相續稅ニ對シマスル只今ノ御所見、御同感ノ點ガ大分アルノデアリマス、前回ノ増稅案、一昨年ノ増稅案ニ於キマシテモ、亦今回ノ増稅案ニ於キマシテモ、考ヘ方ニ依リマシテ財産ニ相當ノ負擔ヲ掛ケルト云フ考ヘノ傾向ノ強イ方カラ見マスルト、他ノ稅ノ増加ノ割合カラ考ヘマスルト、相續稅ノ増加割合ハ大分輕微デアアルト云フコトヲ御感ジニナルト思フノデアリマス、只今ノ處デ全然財産ト云フモノニ課稅シナイノダト云フ結論ニ達シ

マスルコトハ、色々ノ觀點カラ見テサウ迄ハ參ラナイノデアリマスルガ、餘程今御說ノヤウナ點モ考ヘマシテ、前回モ今回モ稅率等ニ付キマシテハ相當考慮ヲ拂ッテ次第デアリマス、御了承願ヒマス

○三井清一郎君 私ハ只今藏相ノ御説明ガアツク如ク、今回ノ相續稅ニ付テハ何等異存ヲ持ッテ居リマセヌ、此ノ程度ハ宜イガ、極端ナル相續稅ノ課稅ハ同意出來ナイト云フ心持ヲ持ッテ居ル、ソレダケヲ申上ダテ置キマス、ソコデ此ノ増稅案ガ成立シタ曉ニハ、私ハ此ノ半面カラ、官吏、「サラリーマン」、或ハ大藏省關係デアリマス、經理統制令ヲ改正ラシテ戴カナケレバナラヌト云フ聲モ起リマセウシ、官吏ハ増俸シテ貰ハナケレバ食ウテ行ケナイト云フ聲モ出ラダラウト思ヒマス、是等ヲ御考ヘニナツテ、此ノ増稅ノ結果、平年ニ於テ二十四五億ニナリマス、サウ云フ類ヲ若干出シテ所謂增稅ハシテ大キナ財源ヲ得タガ、又其ノ一部ハサウ云フ方面ヲ潤ヒテ以テ處理ラシテ行クト云フ御考ガアルノダラウト思ヒマス、其ノ點ニ付テ御意見ヲ伺ヒマス

○國務大臣(賀屋興宣君) 增稅ヲ致シマスルノハ、ドウシテモ國民トシテソレダケノ負擔ヲシテ貰ハナケレバナラヌト云フ考ヘ方カラ參リマス、煙草ノ値上ラ致シマシテ、三十錢デアッタ光ガ四十五錢ニナツタ、金鶏ガ十五錢デアリマシタモノガ二十三錢ニナリマシタ、煙草代ガソレデ殖エル、是デハ實ハ困ルノデアリマス、酒ノ稅ガ上ラタ、酒代ガ殖エル、是デハ困ルノデアリマシテ、少クトモ酒代煙草代ハ前ヨリ分量品質ヲ下ダテ、ソレデヤッテ貰ハナケレバナラヌノデアリマス、官吏ナドノ給與ニ付キマ

シテハ、無論十分トハ思ッテ居リマセヌノデ、併シハ他ノ點カラ考慮致シマシテ、尙改善スベキモノハ改善スルトカ、色々ソレハアラウト存ジマスケレドモ、今回ノ增稅ハ是ハ國民ガ負擔ヲシテ貰フ、貰ハナケレバナラヌト云フ點カラ出發致シテ居リマスルノデ、之ヲ原因ト致シマシテ、官吏ノ給與ヲ増シマス、或ハ賃金統制令ノ給與ヲ變ヘマス、是ハ致サナイ積リデゴザイマス

○三井清一郎君 少シ長クナリマス、モウ一項、直接增稅デアリマセヌ、速記ヲ止メテ戴キタイト思ヒマス

○委員長(伯耆三荒芳徳君) 速記ヲ止メテ(速記中止)

○委員長(伯耆三荒芳徳君) 速記ヲ始メテ

○子爵會我祐郎君 私ハ二三御伺ヒシタイ點ガゴザイマシタガ、其ノ中ニハ多少他ヨリ質問モ出マシタノデ如何カト考ヘマス、唯私ハ大キナ問題デハゴザイマセヌケレドモ、國民生活ニ直面シテノ問題デ、實ハ隣組ノコトニ付キマシテハ、二三年前豫算總會ニ於テ隨分細カク述ベマシテ、而シテ其ノ時分ニ於キマシテハ、或人ハソンナニ言ハヌデモ宜イデヤナイカ、ソンナモノデヤナイト言ハレタ方モアリマシタガ、最近ニ於キマシテ隣組ガドンナ風ニナツタカト云フト、内容ガ低下シタト云フコトヲ言ヒ現セマスカドウカ存ジマセヌガ、大分色々ナ事ヲ聞クノデアリマス、ソレデ隣組ニ付キマシテ一ツ二ツ伺ヒタイノデアリマス、其ノ一ツ只今大藏大臣ヨリ御説明ニナリマシタ市民稅、今日ノ我々ノ都民稅、此ノ割當ノ基礎ト云フモノハ、私ハ無茶苦茶ト云フコトヲ言ヘマスカドウカ知リマセヌガ、隨分亂暴ナモ

ノデアアルト云ウヤフナコトヲ聞イタノデアリマス、マア是ハ忍ブト致シマシテモ、忍ブベカラザルモノガ其處ニ一ツ二ツ之ニ伴ッテ起ッテ來ルノデス、其ノ中ニハ御答辯ニアツタコトモアリマス、其處ハ重ネテ申シマセヌガ、都民稅ヲ基礎トシテ寄附金ノ強要ヲスルト云フコトデアリマス、寄附金ト云フモノハ各人ガ爲シ得ル範圍ニ於テ誠意ヲ盡シテ之ヲ何スベキモノデナケレバナラヌ、或ハ區ニ於ケル蒸氣「ポンプ」ガ殖エル、火ノ見櫓ヲ造ルノダトカ、ヤレ何トカ、教育會ノ鍊成道場ヲ作ルノダト云フヤウナ意味ノコトデ、是ハ最近ハ多少跡切レテ居リマシタケレドモ、昨今亦一ツ參ッテ、是ハ私ハ今日迄能ク分リマセヌ、又調ベテモ居リマセヌガ、斯ウ云フ風ナコトデス、全國ニ於ケル監視哨ニ居ル所ノ若イ人達ハ非常ナ寒サニ震ヘテ居ル、之ニ對シテ寄附金ヲ御願ヒスルト云フノデス、私ハ居リマセヌデシタノデ、家ノ者ガ會ッタノデスガ、ドウ云フ言ヒ現シ方ヲシタカ知リマセヌガ、具體的ニ申セバ四百圓寄附シテ戴キタイト云フ、ソレカラ私ハコンナ關係ガアツテ議會ナドヘ參リマス、又來タラ、誰ガ中心ニナツタルノカ何處ガ責任ヲ取ルノカ訊イテ置ケト言ッタノデスガ、又來タサウデス、併シ之モ要領ヲ得マセヌデシタ、其ノ前ニ私ハ內務次官ニ直カニ伺ッタノデス、全國ト言ヘバ內務省ガ之ヲ知ッテ居ルカ防空局ガ知ッテ居ルカ、ドツチカデナケレバナラヌノデヤナイカト思フノダガ、我々ハ兎角寄附行爲ニ依ッテ集メラレタ金ガ、ドンナ大キナ團體ガ今日アルニシテモ、過去ニ於テハ何カノ問題ヲ皆起シテ居ルト云ッテ宜イ位、我々ハ過去ニ於テ色々ナ事ヲ聞イテ居ル、同

ジ寄附ニシテモ何ダカ飲シタリ食ツタリサ
レルノモ厭ナ氣持ダシ、氣持ノ好イヤウニ
シタイト思フノダガ、御存ジデスカト言ッ
ラ、内務次官ハ知ラヌト言ハレタ、併シナ
ガラ後刻上田君ニ訊イタラ、防空局ガ之ヲ
ヤツテ居リマス、之ヲ許可致シマシタト云フ
ヤウナ話デ、細カイ事ハマダハッキリ致シマ
セヌデシタ、家ヘ歸ッテ見ルト、又來タ者
ガ言フノニ東京都ガヤリマスト言フ、
僕ハ君ヲ疑フ譯デヤナイケレドモ、全國ノ
事ヲヤルノニ東京都ガ中心ニナッテヤルノハ
理窟ガ變ヂヤナイカト言フ、寄附ハ少シ
バカリ致シマシタガ、サウ云フヤウナ風ニ
寄附金ガ來ル、我々ハ税金ノ殖エルノハ出
來ルダケ之ヲ納メル、又之ヲ以テ誇リトス
ル位ノ氣分ニナラナケレバナラヌノニ、サ
ウ云フヤウナ割當ガ、不純ト云フコトハ言
ヘマセヌガ、我々ノ頭ヲシテ理解セシメ能
ハザルモノガ其處ニ存在スルコトヲ甚ダ不
愉快ニ思ヒマス、斯ウ云フヤウナ寄附金ナ
ドニ對シテ、大藏省ガ關ハリガアルトカ何
トカ云フコトカラハ何ッタクデヤアリマセ
ヌガ、唯サウ云フコトヲ御耳ニ入レテ置ク
ノモ何カニナラウカト思ッテ、斯ウ云フヤウ
ナ點ニ付テモ注意ヲ拂ッテ戴キタイト云フ希
望ヲ申上ゲテ置キマス、モウ一ツ隣組ノ事
ニ付キマシテ、我々ノ同僚ト寄ッテ話ヲシテ
見マス、此ノ事ハ殆ド皆同ジ意見ヲ持ッ
居ラレタノデス、隣組ニ於テ納稅ヲ取扱フ
ト云フコトハドウ思フカト言ヒマスカラ、
私ハ大イナル間違ヒデアルト思フ、簡素化
ト云フコトハ、見様ニ依ッテハ簡素化ニハ相
違ナイケレドモ、是ハ御役人ノ方、稅務署
ノ方カラ見テ簡素化カモ知レナイケレドモ、
其ノ半面ニハ非常ニ複雑ナモノガ存在シハ

シナイカ、如何トナレバ、假ニ隣組ノ會ハ
多クハ夜行ハレマスガ、夜會ッテ納稅ヲスル、
或隣組デハ三千圓集ル、コッテハ五千圓集
ル、サウスルト金ヲ預ッテ隣組長ガ其ノ金ヲ
落スト云フコトモアル、又泥棒ノ入ラヌト
云フコトモナイ、併シ納稅者ハソレヲ頼シ
デ居ル、ソレヲ託シタケレドモ、若シ泥棒
ニ入ラレテ、泥棒ガ捕マッテ擧ゲラレテモ、
其ノ金ガナクナッテシマヘバ、國民トシテ國
家ニ對スル納稅ノ義務ハマダ果サレテ居ラ
ナイ、泥棒ガ捕マッテ稅務署ハ免除シテハ
再ビ之ヲ拂ハナケレバナラヌ、サウ云フヤ
ウナ責任ヲ考ヘ、之ヲ想フ時ニ、サウ云フ風
ナ隣組ノ如キハ無論金庫モナケレバ、何モ
ナイ、年ノイッタンヤラ何カガ居ッテ、夜九
時カ十時ニ歸ルカラ何事ガアルカ知レス、
ソレニ金額ガ小サナ金ナラ宜イケレドモ、
可ナリ多クノ何千圓、一萬圓近クノ納稅者
ノアルヤウナ處デ、サウ云フヤウナモノヲ
持ッテ來ルノハ、非常ニ危險デヤナイカト云フ
ヤウナ話ヲシタラ、偶、我々ノ同僚ノ間ニ、
同感デスト云フコトデアリマシタ、是ハ是
非此ノ委員會ニ於テ此ノ問題ヲ申上ゲテ、
サウシテハハ強要シナイヤウニシテ行カナ
ケレバナラヌ、必ズ隣組ヲ利用シテ納稅サ
セルト云フコトハ、半面ニ於テ簡素化ト云
フ性質ヲ帶ビテ居ルト同時ニ、非常ニ大ナ
ル責任ガ各都民ニ殘ル、又心配ヲ與ヘル、
又預ッタ人ガ非常ニ災難デアル、惡意ヲ以テ
ヤレバハ仕方ガナイケレドモ、現實ニ落
スト云フコトモアル、ソレデスカラ、ドウ
カ納稅ト云フコトニ付テ必ズ強要シナイ、
シナケレバイカヌト云フコトヲ強要サレナ
イヤウニシテ戴キタイ、ソレカラ又隣組デ

今申シタヤウナ前ノ、寄附金ノ割當、市民
稅トカ色々ナモノ、或ハ色々ナ貯金ガアリ
マスガ、ソレ等ニ對シテ其ノ成績ヲ爭フ、
自分ノ組ハ非常ニ良イカラ御褒美ヲ戴イタ
トカ、賞メラレタトカ云フコトデ、隨分無
理ナコトヲ言ッテ來ル場合モアリマスカラ、
ソレ等ニ對シテハモウ少し上意下達ト申シ
マセウカ、今日デモ隨分極端ニ行ッテ居ル、
恐ラク失禮ナ言ヒ方デアルケレドモ、大藏省
關係ノ方ニ、貯金ノ種類ガ一體幾ラアリマ
スカト突然尋ネタラ、今日ノ貯金ノ數ハ
幾ツ、名前ハ何々ト言ッテ及第スル方ハアル
マイト思ハレル程澤山アル、何トカ貯金何
トカ貯金ト來ル、ソレハ出來ルダケ國民ハ
皆、シテ居リマス、實際我々ノ小サナ隣組
デモ可哀サウナ狀態ノ人ガ澤山居リマス、
サウ云フ人ハ我々ガ出來ルダケ力ニナッテ
上ゲテ居リマスケレドモ、ソレニドウモ兎
角隣組長ノ内容ト云フモノガ低下スルト云
フコトヲ申シマシタガ、初メカラ低下シテ
居ル所モアルカモ知レマセヌ、組長トカ副
會長トカ云フノガ、其處ニ非常ニ矛盾ガアル、
今日ノ隣組ヲ理想的ニヤラウト思ッテモ、頭
ノアル人ハナカ／＼受ケマセヌ、アンナ面
倒ナ複雑ナモノヲ……、之ニハ我々ハ同情
ヲ持ッテ居リマス、能ク理解シテ居リマス、
少シハ無理サレテモ仕方ガナイト存ジテ居
リマスルガ、隣組ヲ表彰スルトカ何トカス
ルト云フコトガアルナラバ、隣組長ノ惡イ
事ヲシタ者ニ罰則ヲ加ヘルト云フコトモア
テ宜イノデヤナイカ、從ッテ今日ハ反對ノ現
象デハナイカト思フ、此ノ間何カノ機會ニ、
隣組長ニ對シテハ罰則ヲ加ヘナケレバナラ
ナイトカ、誰カ衆議院方何カデ言ハレタヤ
ウナ風ニ記憶シテ居リマスガ、罰則ト云フ

ノハ、何モ極端ナ罰則デナクテモ宜イケレ
ドモ、何ヲシテモ我々ハ罰セラレナイト云
フ氣分ヲ與ヘルト、トンデモナイコトニナ
リヤセヌカ、是等ハ言ヒ現シ方ガ惡ウゴザ
イマシタガ、三ツ四ツ、サウ云フコトニ付
テ申上ゲマシタケレドモ、隣組ニ納稅ヲ取
扱ハシメルト云フコトニ付テハドウ御考ニ
ナッテ居ルカト云フコトヲ、幸ニ大臣閣下ガ
オイデ、ゴザイマスカラ伺ヒタイト思ヒマ
ス
○國務大臣(賀屋興宣君) 戰時ニ於ケル隣
組ト云フコトハ、豫テ私ハ重要ニ考ヘテ居
リマス、率直ニ申シマス、隣組ガウマク
運用ガ必ズ出來ルト言ッテ、ソレハ不思議
ダト思ヒマス、ドウ云フ指導精神デドウ云
フ働キヲシタラ宜イカ、是等ノ點ニ付不十
分ナ狀況ノ下ニソレガ始ッタクデアリマ
ス、批判的ニ言ヘバ、ウマク行ッタク寧ロ不
思議ナ位デ、ソシタモノナラ止メルカ、今日
アレガナカッタ日本ハ運轉シナイ、良カレ
惡シカレ、アレガアッテ働イテ行クト云フコ
トニ依ッテ運轉シテ行ク、例ヘバ適切デナイ
カモ知レマセヌガ、日本ノ統制經濟ハ其ノ
通りデアリマス、昭和十二年、統制經濟ノ
コトハ無用意ニ實ハ始ッタクデス、無用意ニ
始ッタクガ宜イカ、始ッタクガ惡イカ、其ノ
議論ハ別トシテ、事實ハサウナンデアリマ
ス、併シ統制經濟ハ止メラレルカト云フ
ト、止メラレマセヌ、隣組デモ統制經濟デ
モ、批判的ニ申セバ、色々アリマスガ、モ
ウ今日ハ之ヲ能ク育テ、行ク外ナイ狀況デ
アルノデアリマス、出來ルダケ之ヲ良クス
ルヤウニ政府モ力ヲ致ス、色々其處ガムツ
カシイ、惡イコトモアル、良イコトモアリ
マスガ、之ヲ良クスルヤウニ育テ、行クト

云フコトガ、私ハ一番必要ナコトデアルト
思フノデアリマス、其ノ意味ニ於キマシテ
ハ同情ヲ以テ見ルノデアリマス、是ハ日常
周圍ニ接觸スルコトカラ致シマシテ良イコ
ト惡イコトガ響イテ参リマス、之ヲ同情ヲ
以テ見ル、其處ガ實ニムツカシイノデアリマ
スガ、ドウシテモサウ行カナケレバナラス、
又事實良イ隣組長ト申シマスカ、良イ首腦
者ガアル所デアリナカ／＼色々事ガウマク
行ッテ居ルノモ事實デアリマス、結局マア過
去ノ善惡ニ拘ラズ之ヲ良ク改善シテ行クコ
トガ何トシテモ重大デアルト考ヘマス、今
御示ノ點ニアリマシタ寄附金ニ付テ私共ノ
觀點カラ申シマス、寄附金ト云フモノハ御
話ノヤウニ其ノ惡意ガナクモツイ浪費セ
ラレルト言ヘバ言葉ガ強過ギルカモ知レマ
セヌガ、金ノ効率ガ十分ニ發揮セラレズシ
テ行クト云フコトガ随分アリマス、現在ノ
ヤウナ場合ニハ餘リ寄附金ヲヤリマスノハ
外ニ負擔ノ多イ時適當デナイト思ヒマ
スガ、一面又此ノ世ノ中ガ單純デアリマセ
ヌノデ、稅デ、地方稅國稅デ何モ彼モヤッテ
シマフ、後一切、公益公共の事ハ殆ド是
デマア行ケルカト云フコトニナリマスレバ、
是モナカ／＼一面考ヘモノノ點モアリマセ
ウ、又寄附金ノ寄附ヲスルト云フ精神の
良イ所モアリマスノデ、是等ガナカ／＼
各角度カラ考ヘマス問題デアリマスガ、
兎ニ角目的ガ明瞭デナク、又集ッテモノガ一
萬圓集メテ本來ノ目的ニハ五千圓カ六千
圓シカ使ヘナイト云フヤウナコトハ、此ノ
際最モ慎ムベキコトデアル、今ドウ致スト
云フコトハ申上ゲマセヌガ、御話ノヤウナ
點、是ハ二三日前ニモ或新聞ニモ書イテ居
リマス、十分ニ私共ノ頭ニ置キマシテ、意

ニ掛ケテ居リマス、適當ナ施策ヲ機會ガア
リマシタラ作りタイト思ヒマス、ソレカラ
納稅ニ付テデゴザイマスガ、是ハ徵稅令書
ヲ傳ヘテ貰ヒマス、サウ云フコトニ付
キマシテハ隣組等デヤッテ貰フコトモ適當ト
存ジマス、私共現金ヲ集メテ納稅スルコト
ニ付キマシテハ、全ク御話ノ通り御同感デ
ゴザイマス、決シテ之ヲ強ヒナイヤウニ致
シマス、ヤルカヤラスカハ其ノ所々ノ情況
ニモ依リマス、御話ノヤウナ事ガアリマシ
テハ、ソレハ全ク危イコトデアリマス、ソ
レカラ第三ノ貯金デゴザイマスガ、之モ御
話ノヤウナ面ガ十分ニアリマス、又隣組長
ニハ忙シイ人モアリマスシ、專門家デモア
リマセヌカラ、ツイ割當ガ機械的ニナリマ
シテ、一方ニハマダヤレバ出來ルト云フ所
モアリ、一方ニハ非常ニ苦シイ所モアルト
云フ點ガアルノデアリマス、マア實ハ是ハ
後デ皆サンニモ差上ゲヨウト思ヒマスガ、
古イモノデアリマシテ、昨年デアリマス、
ドウシテモ割當ガ機械的ニナル、ソレデ之
ヲドウ適正ニヤルカ、適正ニヤルコトニナ
ルト云フトナカ／＼複雑ニナリマシテ、餘程
ノ頭ノアル熱心ナ隣組長、町内會長デナイ
ト實ハヤレナイ、其處ニマア惱ミガアルノデ
アリマスガ、ソレニシテモ色々考ヘル點ハ
考ヘテ貰ハナケレバナラスト云フノデ、是
ハ非常ニ簡單ナモノデアリマシテ、或ハ御
讀ミ願ハナクトモ、是ハマア分リ切ッタ
コトデアラウカトモ思ヒマスガ、實ハ是
ハ貯蓄獎勵委員會ノ委員ノ諸君及ビ東京
デ貯蓄ノ問題ニ良イ成績ヲ擧ゲ、熱心ナル
町内會長及ビ之ニ準ズルヤウナ人ヲ數十人
集メマシテ、縱横ニ論議シテ貰ッテ結果、私
自身ガ色々筆ヲ加ヘマシテ、一生懸命ニ拵

ヘマシタ、拵ヘタノガ出來上リマシタノデ、
意思ノアル所ハ熱心ニ御考ヘ下サレバ相當
ニ分ルト思ヒマス、結果ハ十分ニ行ッテ居リ
マセヌガ、氣持ハ斯ウ云フ氣持デヤッテ居ル
ト云フコトノ御理解ヲ願フ参考ニナリマス
カラ、何レ明日デモ取寄セマシテ差上ゲタ
イト思ヒマス、ソレデ貯蓄ニ付キマシテ隨
分各方面デ御苦勞ト存ジマスガ、大體前ニ
モ申上ゲマシタ通り、國民ノ生産ノ八割ハ
軍需生産デアル、所得ガ多イ人ハモウ收入
ノ九割モ稅デ納メル、殘ッタモノノ八割ヲ貯
蓄ニ向ケル、百ノモノナラ收入ノ一「パー
セント」カ「パーセント」デ暮シテ居ルト
云フ狀況デ、收入ノ少イ人ハ無論サウハ参
リマセヌガ、兎ニ角懸命ニ貯蓄ニ向ケル、
而モ自分ノ生活ト云フモノヲ切詰メテ行ク
ニ非ズンバ、此ノ戰時ノ大生産ハ出來ナイ
譯デアリマシテ、是ガ眞ノ戰ノ苦シサガ、
現實ニ戰場ニ銃後ガアルト云フコトヲ其ノ
儘表シテ居ル面デアリマス、ヤリ方ガ拙イ
爲ニ、同ジ靴デモ足ノ恰好ニ合ハセマセヌ
爲ニ豆ヲ拵ヘ、搾リ剝カシテ居ルト云フノ
ガ現状ガラウト思ヒマス、是モ全國ノ組合
長ガ皆「エキスパート」ニナルコトハ出來マ
セヌガ、結局多少痛ミガアリマシテモ、是
ガ戰爭デアリマスルカラ、各國民ノ御協力
ヲ御願ヒシタイト存ジマス、無用ノ摩擦苦
痛ハ出來ルダケ除クコトニ今後十分ニ努力
シテ参リタイト思ヒマス

○子爵會我祐邦君 只今ハツキリシタ御返
答ヲ得マシテ、私モ非常ニ有難ク感ズルノ
デアリマス、實ハ隣組ノコトニ付キマシテ
色々申上ゲマシタガ、此ノ前チヨット大臣閣
下ニハ研究會ノ機會ニ御覽ニ入レタカモ知
レマセヌケレドモ、此ノ隣組カラ來マシタ
モノノ中ニ、公債ニ應ズル能ハザル者ハ云
云ト書イテアッテ、サウシテ更ニ、前項ノ方
法ヲ以テモ到底不可能ナル場合ハ、其ノ已
ムヲ得ザル事情ヲ證スルニ足ル理由書、收支
計算書ノ如キモノヲ持参シテ來イ、町會長
ハ他ノ組合員ト諮ッテ其ノ可否ヲ決スルト、
實ニ亂暴ナ話デス、斯ウ云フモノガ隣組ノ
中ニ廻ッテ來ル、是ダケノ權能ヲ持ッテ居ル
筈ハナイ、實ニ亂暴ナコトデアリマシテ、
斯ウ云フヤウナ越權行為ハ、是位ハツキリシ
テ居レバ誰ガ見テモ越權行為デ、是ガ「特」廻
覽板デ來テ私貰ッテ置イタノデス、人ノ家ノ
收支決算書ヲ持ッテ來イ、オ前ハ公債ニ應ジ
ラレルカ應ジラレナイカ俺等ガ寄ッテタカッ
テ調ベル、コンナ亂暴ナコトハナイ、斯ウ
云フヤウナ行為ガ時々アルノデス、今申上
ゲマシタ頭ノナイ連中ガヤリマスカラ、サ
ウ云フヤウナコトニナッテ命令權ヲ持ッ
リシ者ガ命令權ヲ持ッテ、ソコニ自分ガサウ
言ッチャ何ダガ、エライ御役人ニナッタト云フ
ト見エテ、所謂指導員ガ無闇ニ怒リツケテ
見タリスルカラ、指導員ニ命令權アリヤ否
ヤト云フコトヲ此ノ前内務大臣ニ都制案デ
伺ッタノデスガ、指導員デヤナイカ、命令權
ハ何處ニ持ッテ居ルカ、物ノ言ヒ方ヲ氣ヲ附
ケテ言ヒ給ヘト云フコトヲ言ッタコトガアリ
マスケレドモ、サウ云フ亂暴ナコトヲ言ハ
レマスカラ、善良ナル市民ノ頭ニ惡イ印象
ヲ與ヘル、生活難、配給難、色々ナ問題ト
直面シテ、一種ノ大キナ言葉デアリマスカ
知リマセヌガ、國家ニ對スル不滿ヲ持ッ、
國家ヲ呪フヤウナ思想ガ蔓延スルコトヲ非
常ニ心配シテ居ル、隨分國家ヲ呪ウテ居ル
ト云フコトノ現實ヲ申上ゲルコトハ出來マ

セスガ、何トナク不滿ヲ持ッテ居ル、ソレ
デ今日ハ能ク赤トカ「ユダヤ」ヂヤナイカ
ト云フヤウナコトヲ言フ人サヘアル、サウ
云フヤウナコトニ對シテ、小サナコトガ國
民ノ神經ヲ刺戟スル點ニ於テ、大イニ考ヘ
ナケレバナラスコトデアルト私ハ思フ、同
時ニ今日、繰返ス必要ハアリマセヌケレド
モ、官吏ノ一部ニ不心得ノ者ガアツテ、官吏
ニ對スル問題ガ法律化サレテ來タ、是ハ國
家ノ不祥事デス、本當ノコトヲ言ヒマスレ
バ……、日本ノ如キ國家ニ於テ官吏ヲ懲罰
スル法律ヲ新シク作ッテ發表スルト云フコ
トハ、國家ノ不祥事ニ過グルモノハナイ、

私ハ官吏公吏ニ對シテハ全幅ノ信頼ヲ置イ
テ居ルコトガ前提デアルト思フ、ニモ拘ラ
ズソレガ法律化サレタト云フコトハ、決シ
テ誇ルベキコトデナク、國家ノ不祥事ニ
過グルモノハナイト私ハ憂フル者デアリマ
ス、併シ今日ドウシヨウト、ナイヨリハ宜
イト云フコトナラバ、ソレデ宜シウゴザイ
マセウ、併シソシナモノニ括ラレテ、官吏
諸君、公吏諸君ガ立派ナ人ニナルト云フコ
トハ、根本ノ間違ヒデアル、自ラ省ミテ行カ
ナケレバナラナイ、是ニハ或力、或思想ガ
働イテ居ル、是ハ我々ガ何ト云フコトハ申
上ゲラレマセヌ、ケレドモ大イニ國民全
體ガ此處ニ緊張スベキ重大ナル性質ノモノ
デハナイカト私ハ思フノデアリマスノデ、
意見ヲ述ベテ私ノ質問ヲ終リマス

○委員長(伯爵二荒芳徳君) 只今會我子爵
ノ發言ノ中ニ速記録カラ除キタイト云フ御
要求ガアリマシタガ、除クコトニ御異議ゴ
ザイマセヌカ

○子爵會我祐邦君 ドウゾ、全部デモ宜シ
「異議ナシ」ト呼フ者アリ」

ウゴザイマス
○委員長(伯爵二荒芳徳君) 事務當局ト打
合セマシテ致シマス

○國務大臣(賀屋興宣君) 只今ノ所謂行キ
過ギニ付キマシテノ御説、誠ニ御尤モデア
リマシテ、私共サウ云フ事實ガナイヤウニ
出來ルダケ指導ヲシ、努メテ居ル譯デアリ
マス、唯、一方ニ斯ウ云フ事實モアリマス、
私共認メテ熱心ナ眞面目ナ町内會長其ノ他
ト見ル方カラ、強制權ヲ貰ヒタイト云フ聲
ガ非常ニ多イノデス、ト云フノハ相當ニ金
ガアツテ立派ナ生活ヲシテ、日髪日化粧ノ贅
澤ナ生活ヲシテ居ルガ、絶對ニ貯蓄ニ協力
シナイ、防空ニモ何ニモ出テ來ナイ、サウシ
テオ前一體強制スル權利ガアルノカ、斯ウ
來ル面モアルノデアリマス、之モ事實ダト
思ヒマス、サウ云フ時ニ少シ熱情家ノ町内會
長ニ於テハ、本氣ニヤルノダカラ強制權ヲ
貰ヒタイト云フ、處ガ、是ガ私ハ大事ナル
點ダト思ヒマス、善良デ賢明ナ人ナラバ何
ヤラシシテモ宜イ譯デアリマスガ、善良ナ
人デモ、所謂熱心ノ度ガ過ギル場合モアリ
マスシ、判斷ノ誤ル場合モアリマス、政府
トシマシテモ隣組、町内會ト云フモノニ對
シテ、所謂強制權、命令權ヲ與ヘルト云フ
コトハ、或ハ箇々ノ場合ニハ、ソレガ適當
デアルト思ハレル場合ガアリマシテモ、全
體ノ制度トシテ非常ニ考フベキモノヂヤナ
イカ、御承知ノヤウナサウ云フヤウナコト
ガナイ方針デ行ッテ居リマス、從ッテ罰則ナ
ドノナイハドウシテモ道義的ナ方法デ行
カナケレバナラス、サウ云フ基礎ガ其處ニ
ナケレバナラスト考ヘテ居リマス、貯蓄ノ
熱心ナ指導員其ノ他カラ、サウ云フ聲ガ出
マスガ、ソレナラバ何デモ熱心ニ話シタ

ラドウカ、又何デモ熱心ニ話シテ、能ク分ッ
テ從來非協力ノ人ガ非常ニ協力スルヤウ
ニナツタト云フ例モ隨分アル、此處ハ熱心デ
ヤル、強制デシタモノハ形ダケデ從フノデ
アリマス、ソレガ心カラ戰爭ト云フコトヲ
考ヘ、國家ノ將來ヲ考ヘ、ドウシテモ出來
ルダケソレニ努力シナケレバナラスト云フコ
トヲ考ヘテ貫ッテ上デナケレバ、本當ノ戰
争ノ力ニナラナイノデアリマスカラ、極力
強制權ト云フコトデナク、熱心ニ努力ニ依
テ考フシテ、サウ云フ考ニナツテ貫フヤウ
ニ盡力ヲシテ貰ヒタイト云フコトヲ申シテ
居リマシテ、其ノ方針デ參リタイ、要ハ互
ニ缺點ヲ擧ゲ反撥致シマスレバ、互ニ缺點
モアル譯デアリマス、寧ロ自分ノ缺點ヲ省
ミテ直シナガラ、相手ノ立場ニ同情ヲシ、
所謂互ニ其ノ芽ヲ伸スト云フ氣持ヲ持ッテ
行カナケレバ、兎ニ角法制ナンテ言フモノ
ハ、一ツノ道具ニ過ギナイノデアリマス、
根本ハ其ノ氣持デ參リタイト存ジテ居リマ
ス

○子爵織田信恒君 大藏大臣ハマダオイデ
ニナリマスカ

○國務大臣(賀屋興宣君) マダ居リマス
○子爵織田信恒君 ソレデハ御質問致シタ
イノデスガ、先程カラノ色々委員ノ御質問
ニモ關聯シテ居ルノデアリマスルガ、先刻
大藏大臣ノ仰シヤイマシタヤウニ、此ノ戰
時下我ガ國ガ自給自足ノ財政體制ヲ立テテ
行クト云フ場合、此ノ増稅ハ免レナイ、是
ハ御尤モデアラウト思ヒマス、當然ノコト
ト思フノデアリマスルガ、矢張り此ノ増稅
ノ結果ガ國民ノ生活組織デアルトカ、内容
デアルトカ云フモノニ、響イテ來ルコトハ
是ハ當然デアリマス、ソレニ加フルニ先程

チヨット御話ガアリマシタヤウニ、此ノ統制
經濟ノ政策モモット強化シテ參ルダラウト
思ヒマス、自然國民ノ生活ニハ色々影響
ヲ及ス次第デアリマスルガ、矢張り此ノ統
制經濟、言葉ヲ換ヘテ言ヘバ一ツノ必要充
足ノ經濟ト申シマスカ、此ノ必要充足ノ經
濟ヲ強化シテ行ケバ、所謂在來唱ヘラレテ
居ッタ一般國民經濟ト云フモノハ棒ヲ嵌メ
ラレ、壓縮サレテ行クト云フノハ、是ハ一
般ノ傾向ダト思フ、是亦免レナイ所デア
ルト思フ、ソコデ一方色々生活ノ形態ニサ
ウ云フ影響ガアリマスルト、ソコニ國民ハ
自ラ又不安ヲ懷クコトニモナルノデ、ソコ
デ自然政府御當局ニ於カレマシテモ國民ノ
生活ハ確保スル、或一種ノ「ライン」ヲ確保ス
ルノダト云フコトヲ再三政府トシテモ仰セ
ラレタノハ、其ノ點ノ不安ヲ除去シ、國民
ニ或一定ノ安心ヲ與ヘルト云フ御趣旨デア
ルヤウニ思フノデアリマス、處デ今日迄國
民ノ生活ノ「ライン」ヲ確保スル、或線ヲ確
保スル、其ノ線ト云フコトニ付テ政府御當
局カラ具體的ニ伺ッタコトガナイト思ヒマ
ス、一兩年前カラ或新聞社ノ座談會デ、當
時ノ農林大臣ト商工大臣ト此ノ點ニ觸レテ
チヨット言ハレテ居ッタノハ、其ノ時ノ現狀
ヲ維持スルノダト云フヤウナ御話ガ出テ居
リマス、ソレデハドウモ甚ダハッキリシナイ
ノデアリマス、又或醫學ノ雜誌デアリマシ
タカト思ヒマシタガ、矢張り此ノ國民生活
ノ確保スベキ「ライン」ト云フノハ、國民ノ
體位ニ影響アル、體位ガ向上シナイデ下ッ
テ行クト云フヤウナ生活ガ一ツノ「ライン」デ
アルト云フヤウナ、生理的ナ方面カラ言フデ
居ルノモアリマシタ、是モ甚ダ徹底シナイモ
ノト思ヒマスガ、又其ノ後或小サナ經濟雜誌

ト思ヒマシタガ、是ハ企畫院ノ或役人ノ方ガ稍、具體的ナ意見ヲ吐カレタノヲ私ハ拜見シタコトガアツクデアリマス、併シソレハ立派ナ御意見デアルトハ思ヒマシタケレドモ、我ガ國ノ實際ノ此ノ社會事情カラ見テ、果シテ妥當ナリヤ否ヤト云フ點カラ言フト、直チニ其ノ御意見ニハ賛成ハ出來ナカッタ、固ヨリ或一線ヲ抽出シテ茲ニ出スト云フコトハ比較的ムツカシイ、觀念的ニモムツカシイコトハ思ヒマスケレドモ、併シ或程度其ノ「ライン」ヲ政府ガ御示ニナルト云フコトハ、例ヘバ増稅其ノ他ノ場合ニ於テモ、政府ハドウ云フ社會層ノドウ云フ線ヲ標準トシテ政策ヲヤツテ居ルノカ、ト云フコトガ或程度ハキリシテ、所謂奢侈デアルトカ無駄デアルトカ云フヤウナ觀念ガ伴ッテハキリシテ來ルンデヤアルマイカ、自然國民モ其ノ「ライン」ヲ設ケテ生活ヲ切下ゲル、ト云フヤウナ努力モソレニ伴フモノデアリマス、色々ナ誤解モソレニ依ッテ防ガレルンデヤナイカ、色々ナ施策ヲ爲サル上ニ却テ或程度ノ「ライン」ヲ示サレ、政策ヲ樹テ行カレルコトヲ示サレタ方ガ仕事ガシヨクハナイカ、ト云フヤウナ氣持モ私ハシテ居ルノデアリマス、ソレデ無論先程大臣ノ仰セラレマシタヤウニ、此ノ自給自足ノ財政ガ長期ニ互レバ、自ラ其ノ「ライン」ノ移動ト云フコトモ起ルコトハ當然デアリマスルケレドモ、大體ニ於テドウ云フ所ヲ想ッテ國民ノ生活ノ安定ヲ確保スルト政府ハ御考ニナツテ居ルノデアリマセウカ、若シモ承ルコトガ出來レバ此ノ機會ニ承ッテ見タイト思フノデアリマス

○國務大臣(賀屋興宣君) 御尤ナ御尋デアリマシテ、率直ニ申上ゲマス、之ヲ何處

カラ觸ッテ見テモ、是ガ確タル「ライン」デアルト云フ、其ノ觸ル所ガ實ハハッキリナイト思フノデアリマス、普通極ク簡單ニ出マス話ガ、一體何圓アツカラ生活ガ出來ルノダ、斯ウ云フ話デアリマス、是ハ今部數ガアレバ差上ゲヨウト思ヒマスガ、實ニ卑近ナコトヲ申上ゲルヤウデアリマスガ、兎ニ角何圓ト申シマシテモ、一家トスレバ家族ノ人數ニ依リ年齡ニ依リ性ニ依リ、教育ヲ受ケル必要ノ年齡ノ者ガ居ルカ居ナイカニ依リマシテ、又高等教育ヲ受ケテ居リマス場合ナラ、自分ノ住居カラ通學シ得ル所ニ學校ガアルカナイカデ、是亦大變ナ差ガアルト思ヒマス、身體ガ健康デアアルカ健康デナイカニ依ッテモ違ヒマス、家屋ノ所有如何、空イタ土地ノ有無、菜葉ヲ作ッテ或程度ノ野菜ヲ自給シテ居ルトカデ、到底此ノ金額計算スルト云フコトハ出來ナイ話ナノデアリマス、能ク生活ハ何圓デアアル、サウ言フ、實際ノ政策ニ響キマス上ニ於テ、何圓デアルト云フ計算ヲスル以上ハ、餘リ無理ナコトハ出來ナイ、今簡單ニ二三ノ例ヲ申上ゲマシタガ、ソノコトデモ中間ノモノヲ採ルト云フコトニナル、サウスルト其處迄生活ヲヤツテ宜イノダ、ソレヨリ下ニ行ッテハ無理ナノダ、斯ウ國民ノ多數ハ取ル、其處ニ非常ナ間違ガアル、私ハ結局是ハ健康ヲ維持増進スルコト、第二ノ國民ノ教養ト云フコト以外ニハナイト思ヒマス、極力其處迄壓縮サレテ行クベキダト思ヒマス、ソレガ何デアアルカト云フコトニ付テハ、衣生活ハ何處迄切詰メルノダ、住居生活ハ何處迄切詰メルノダ、食生活ハ何處迄切詰メルノダ、サウスレバ食生活モ今ノヤウニ土地ニ依ッテ違ヒ條件ニ依ッテ違フ、一家ノ支出ガ何圓

ト決リマセヌ、結局「カロリー」ガドウトカ云フコトニナル、「カロリー」ガドウトカ申シマシテモ、榮養素ノ配分デスガ、單純ナ「カロリー」デハイケナイ譯デアリマス、今日モ或所デ話ガ出マシタガ、「カロリー」「カロリー」ト言フガ、アレハ石炭ダケデ宜イデヤナイカ、サウモ行キマセヌ、結局健康ト第二國民ノ教育ト云フ外ハナイト思ヒマス、其處ヲ金額デ表スコトハ出來マセヌ、寧ろ私ハ具體的ニ今衣生活ハ斯ウシヨウ、オ互ニ夏服ハ作ルマイ、帽子ハドウシヨウ、衣料切符ハ若イ育ツ盛リノ者、働ク者以外ハ使ハナイヤウニシヨウトカ、私ハ一々生活ノ面ニ付テヤツテ行ク外ハナイノデヤナイカ、又結婚ノ費用ハドウシヨウ、總テ其ノ面ニ付テ銃後デ生産ノ爲ニ、前線ニ力ヲ付ケル爲ニ働ク働キガ停ラナイ、ソレガ出來ルト云フコト、第二ノ國民ヲ教育シテ行クト云フコト以外ハ、モウ具體的ニ一々考ヘテ行ク外ハナイト思ヒマス、ソレヲ率直ニ申上ゲマス、矢張り之ガ工夫ニ依ッテ違ヒマス、何ト申シマシテモ人ハ感ジガアリ、情性ガアリ、習慣ガアルノデアリマス、何トシテモ違ヒマス、三年前ニ出來ナイト思ッタコトガ今ハ出來ル、三年前ニハヲカシクハナイカト思ッタコトガヲカシクナイ、其處ガマダマダ私ハ考ヘテ行ク餘地ガアルト思ヒマス、衆議院デモ御質問ガアリマシタ、何處迄切詰メルノダト云フ御質問ガアリマシタ、今斯ウ云フ卓子掛ガ掛ッテ居リマスガ、是ガナクテモ御互ニ話ガ出來ルデヤアリマセヌカ、サウ云フコトガ幾ラモアラウト思ヒマス、此處デ、國民生活ノ最低生活ノ範圍如何、ト云フ御質問モ決シテサウ云フ御趣旨デハナカッタノデアリマスガ、私ハ是ハ健康ト

教育ダケダ、後ハ壓縮出來ルダケ壓縮シテ行ク、其ノ具體的ナコトハ御互ヒニ社會通念ニ從ッテ政府モヤリマセウ、又各種ノ團體モヤリマセウ、矢張り端カラ實行シテ行クコトデアアル、自分ガ此處迄ハ切詰メルコトガ出來ル、此處迄ハ省ケルト思フコトヲ、ドシ、實行スルヨリ外ナイト思ヒマス、政府モ確保シタイ最低ノ線ハ今申シタ傾向デアリマス、食糧政策ニ重キヲ置イテ居ルノモ、其ノ點カラ參ッテ居ル次第デアリマス、ソレト將來ノ國民ノ教育ト、之ヲ中心トシテ進ミタイト考ヘテ居リマス

○子爵織田信恒君 今ノ大臣ノ御説明モ御尤モダト思ヒマス、個人々々ニ人ヲ見マシタ時ニ、切詰メタ一番「ライン」ガ其處ニ行クノダラウト思ヒマス、先程チヨット申上ゲマシタ雜誌ニ出テ居ッタ、多少具體的ノ意見ト云フモノモ、國民ノ中デモ、個人々々ト云フヨリモ、國民ノ中デモ壯健ナル兵隊ヲ造ル、其ノ「ライン」ガ一ツ、ソレカラ農業、工業ニ對スル努力ヲ確保スルコト、其ノ體位ヲ確保スルコト、其ノ「ライン」ガ同時ニ一ツ、ト云フヤウナ意見ガ其ノ中ニハ出テ居ッタノデアリマスガ、是ハ一ツノ見方デアリマスケレドモ、我ガ國ノ社會事情カラ見マシテ、サウ云フヤウニ簡單ニ見ルコトガ果シテ妥當カドウカ、詰リ私ノ虞レル所ハ餘リニ一種ノ個人主義ト言ヒマス、個々ノ人ヲ見ル時ニ、日本ノ家族制度ト云フモノガ破壊サレル虞ガアルノデヤナイカ、是非非常ナ大事ナ點デアリマシテ、日本ハ個人々々ヲ見ルト同時ニ、其ノ個人ガ集團シテ、ソコニ先程カラ御話ノ思想的ニモ、健全ナル思想ガ其處デ結成サレテ居ル家族生活、家庭生活ガ破壊サレテハ、日本ノ傳統ノ長所ガ

失ハレルノデハナイカ、或ハ生活ノ程度ヲ切下ゲテ行クノモ宜イケレドモ、ソレハ各個人々々ガ持ッテ居ル家族制度ノ精神ガ、ソレガ爲ニ破壊サレルヤウナ所迄行クコトガ、是ガ一ツノ心配ナンドス、ソレカラモウ一ツ、抽象的ニナルカモ知レマセヌガ、是ハ他ノ委員會デモ私ハ申上ゲタコトデモアリマスガ、故人ニナラシタ戸田海市博士ナドモ、日本ノ社會組織ト云フモノハ何處ニ重點ヲ置クカト云フ時ニ、日本ノ國デ、今日ヲ成シタ社會層ハ、所謂中堅知識階級ダ、此ノ中堅知識階級ト云フモノガ我が國ノ獨特ノ社會組織トシテ大事ナ點デア

シタ家族制度ヲ堅持スル部分ト云フ所ニ、個人ヲ見ル外ニモウ一ツ寧ロ注意スベキ點ガアルノデハアルマイカ、斯ウ云フマア氣持ヲ持ッテ居ルノデアリマス、無論先大臣ガ言ハレタヤウニソレナラバ「ライン」ヲ決メタナラバ、ソレカラ上ノ者ハズツ下ゲルケレドモ、下ガソレヲ持ッテ行ッテ上ガツラ仕様ガナイ、是ハ矢張り施策ノ上ニ於テ所謂手加減ハ要ルト思ヒマス、併シ先程大臣ガ言ハレタヤウニ、最善ノ理想ハ一般國民ヲシテ恒産アラシムルノダト云フ所ニ、是亦一ツノ見方デアリマスカラ、是ハ或一ツノ年月ト云フモノヲカケテ、其處ニ政府ガ國民生活ノ向上ニ施策ガ行ハレテ行ク

スカラ、織田子爵ニ對スル御答辯ヲ以テ此ノ席カラ御退出ニナリマス、從ッテ今日ハソレヲ以テ終リタイト思ヒマス、尙明日十時ニ大臣ハ此ノ席ニ御出席ガ願ヘルサウデアリマスカラ、左様御承知ヲ願ヒマス
○子爵織田信恒君 若シモ大臣ガオ急ギデアレバ、答辯ハ明日御伺ヒ致シテ宜シウゴザイマス
○國務大臣(賀屋興宣君) 只今ノ御質問ハ家族制度ノ問題デゴザイマスガ、ソレハ政府ト致シマシテモ、極メテ重大ニ考ヘテ居リマシテ、現在ノ勞務動員、勞務需要ノ上カラ申シマシテ、端的ニ言フト、女子ノ徵用ヲシタイノデアリマス、之ヲ實行セザル所

ニ御質問ノ主點デモアリマセヌデシタガ、總テノ國民ガ恒産ガ出來ルト云フコトヲ申シマシタ、是ハ詰リ現在生活ノ最小限度ニ切下ゲルト云フコトハ、收入ガ無クテ最小限度ノ生活ヲスルト云フノデハナク、相當ニ皆收入ガアルモノガアル、ナカ／＼多イ、殊ニ今迄ナカッタ面ニ多イノデアリマス、アツテモ生活ハズツ切下ゲテ貰ッテ行ク、今ノ生活ノ苦シサハ平時ト違ッテ、收入ガナイ爲ニ苦シイカラト云フノデハナク、收入ハアルノダ、而モ之ヲ使ハナイ、使フナラバ國ノ爲ニ役ニ立ツヤウニ使フ、ソレハ生産擴充資金トナル公債ノ方ニ直接間接向フ、其處デ恒産ガ出來テ行クト、斯ウ云フ意味デア

ル、外國ニ於テハ勞働者階級デアルト云フ處モアルケレドモ、日本ニ於テハ其ノ意味ニ於テハ勞働問題ガ起ラナイ、中堅知識階級ノ問題ガ日本ノ大キナ政治ノ中心ニナル問題ダ、ト云フヤウナコトガ主張サレテ居タコトヲ、私ハ最近ニ讀ンダコトヲボシヤリ記憶シテ居ルノデアリマスガ、無論今日其ノ中堅知識階級ト云フモノハ、何處カラ何處ノ層カト云フコトハ甚ダ困難デアリマスルケレドモ、大體サウ云フ考ヘ方ハ日本ノ國ガ是カラ發展シ、政治ガ圓滿ニ運行サレテ行ク上ニ、大事ナ「ポイント」ニナルト云フ氣ガシテ居ルノデアリマス、自然國民生活ニ或標準ヲ求メル時ニハ、個人々々ヲ見テハ是ハピンカラ切り迄アルノデアリマス、大體日本人ノ大事ナ層ガ何處ニアルカ、サウシテ或「ライン」ヲ出來ルダケ確保シテ、無論是ハ時代ノ變化ニ依ッテ、ソレ／＼其ノ「ライン」ガ上ガルトモ下ガルトモアル、

急速ニソレデ以テ手ヲ緩メルト云フ譯デアリマセヌケレドモ、何カ其處ニ大事ナ狙ヒ所ガアルヤウニ思フノデアリマス、ダカラ先仰ツシヤッタヤウニ、ソナラバサウ云フ一ツノ層ノ線ヲ歩イタノハ、過去ニ於テハ其ノ層ガ必要トシテ居タト云フヤウナ贅澤ナコトモ言ヘマスガ、「デーブル・クロス」、コンナモノヲ置イテオイテ宜イノカ……ソナ譯デアリマセヌ、是ハ戰時下ニ於テ無クテモ濟ムモノハ要ラナイデヤナイカ、斯ウ云フ點ハ混同スルコトナシニ、唯政治的ニ、若シハ財政ノ計畫ヲ御樹デニナルヤウナ時ニ、國民ノドウ云フ層ヲ、狙ッテヤツテ行ク點ガ將來ノ我が國ノ爲ニ最モ有利デア

リマス、ドウシテモ家ヲ守ルノハ婦女子デアリマス、婦女子ノ第一ノ天職ハ家ヲ守ルコトデア

アル、結局詰ル所ハ、今ノ戰時ニ於テ國民ガ本當ニ勝ツ爲ニ、生キル爲ニハ、ドウシテモ健全ナ精神ガ出來ナケレバナラス、又出來タ時ニ勝チ拔ケルノデアリマス、ソレカラ又身體ガ健康デナケレバ矢張り勝テマセヌ、サウシテ今ノヤウニ國民ノ所得ガ大體ニ於テ増加致シマシテ、切詰メタ生活ヲ致シマス、ソコデ經濟上下ウシテモ餘裕ガ出來ルト負擔ト云フモノガナクナル現ニ農村負債ノ問題、アレ程重要デアッタ農村負債ノ問題ト云フモノハ、戰爭ニナッテ以來影ヲ潛メテ居リマス、是ハ何故カ、皆相當蓄積ガ出來、負債ノ償還ガ出來、負債ノ出來ル原因デアッタ所ノ、或ハ結婚ニ際シテ、或ハ葬儀ニ際シテ、色々ノ場合ノ浪費ノ習慣ト云フモノガ一掃サレテ現在ニナッテ居リマス、

是ハ當然私モ考ヘラレマスガ、日本ノ社會ガ健全ニ發達シテ行ク時ニハ、或一ツノ矢張りサウ云フ大事ナ層、若シハ先申シマ

持チニナッテイラシヤルカ、其ノ點ヲ伺ヒマス
○委員長(伯爵二荒芳徳君) チョット皆サ

分ニ働カセルト云フ、此ノ家族制度ノ觀念ガ非常ニ考慮サレテ居ルコトガ餘程外ノ國ト違フノデアリマス、第二ノ國民ノ中ノ狙ヒト云フ點ニ於キマシテハ…… チョット速記ヲ止メテ
○委員長(伯爵二荒芳徳君) 速記ヲ止メテ
(速記中止)
○委員長(伯爵二荒芳徳君) 速記ヲ始メテ
○國務大臣(賀屋興宣君) 尙最後ニハ別

マシマス、勝ツタ時ノ日本ヲ考ヘマス時ニ、國民

ガ皆其ノ意味ニ於テ立派ナ精神、身體、經濟ヲ有シタモノニナリ、國家ハ有ラユル軍事、經濟全體ノ面ニ於テ發展シ充實シテ、本當ニ國民ト國家ト云フモノガ相一致スル態勢ニナルト思ヒマス、又ナツテ行ク所ニ、此ノ大キナ勝利ガアリ、建設ガアルト思フノデアリマシテ、國民全體ニ資産ガ出來ルト云フ意味ハ、サウ云フ意味ヲ申上ゲテ居ルノデアリマシテ、ソレ以外ニハ全然他意ハナイノデアリマス、御了承ヲ願ヒマス

○子爵織田信恒君 今大臣カラ色々御丁寧

ナ御答辯ヲ戴キマシテ有難ウゴザイマシタ、實ハ最近總テノ見方ガ、物ト云フモノニ餘リ重キヲ置イテ、人ヲ見ルニモ、個人的ナ精神的ノ潤ヒト云フモノガ割合ニ淋シイト云フ感ジヲ近頃持ツテ居タノデアリマス、

國民ヲ政府當局トシテ御覽ニナル時モ餘リ物ニノミ囚ハレナイデ、所謂日本傳來ノ家族生活、ソコニ個人以上ノ大キナ一ツノ生活、裕リノアル溫カミノアル生活ヲヤッテ居

ルノデアリマスカラ、サウ云フ一ツノ協力ヲシテ行ク單位ヲ又御覽ニナツテ是ガ壞レナイヤウニ、是ハ我が國ニ於テハ申ス迄モナク非常ニ大キナ力ヲ持ツテ居ッテ、例ヘバ

關東大震災ノ時モ、アノ地方ノ農村ノ家族ト云フモノガ困ツタノヲ非常ニ包擁シタ、近クハ静岡ノ大火ノ時モ救済資金ヲ出シタ

ガ、殆ド使ヘナイデ皆周リノ農村ノ家族ニ收容サレテシマッタト云フヤウナ、何トモ言ハレナイ美シイ溫イ一ツノ組織ガ出來テ

居リマスノデ、是ガ又斯ウ云フヤウナ非常時國家ノ時ニ、最モ有能ニ働ク時デヤナイカト思ヒマス、此ノ溫イ家族のノ氣分、先程言ハレタヤウニ祖先傳來ノ思想ト云フモノガ織リ込マレテ、一ツノ大キナ國家の國民

ノ協力ガソコニ生レテ來ルヤウニ私ハ思ヒマス、ドウゾ今後色々サウ云フヤウナ御施策ヲナサイマス時ニ、サウ云フ點ヲ又頭ニ入レテ御考ヘ願ヒタイ、ト云フヤウナ氣持カラ質問ヲシタノデアリマス、ドウモ有難ウゴザイマシタ

○委員長(伯爵三荒芳徳君) ソレデハ之ヲ以テマシテ本日ハ散會致シマス、明日ハ午前十時カラ開會致シマス

午後四時二分散會
出席者左ノ如シ

委員長 伯爵二荒 芳徳君
副委員長 男爵島津 忠彦君
委員

公爵德川 家正君
侯爵井上 三郎君
侯爵中山 輔親君
子爵曾我 祐邦君
子爵大河内 輝耕君
子爵織田 信恒君
子爵柳澤 光治君
子爵由利 正通君
中川 健藏君
三井清一郎君
男爵小畑大太郎君
松本 丞治君
河田 烈君
男爵益田 太郎君
三浦 新七君
黒田 英雄君
西野 元君
松本 學君
竹下 豐次君
野村 徳七君
磯野 庸幸君
河西豊太郎君

國務大臣 中山 太一君
大藏大臣 賀屋 興宣君

政府委員 大藏省總務局長 松田 令輔君
大藏省主稅局長 松隈 秀雄君
大藏省國民貯蓄局長 氏家 武君
大藏省調査官 野田 卯一君
大藏書記官 池田 勇人君
同 渡邊喜久造君
專賣局長官 濱田 幸雄君